新京日日新聞
號外
本紙一部五錢 定價一ヶ月壹圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話（編輯局専用）③三三二五（營業局専用）③三三〇〇
發行人 十河栗忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介
昭和十一年七月七日

二・二六事件の全貌發表さる

起訴總數百二十三名 十七名は死刑

特設軍法會議の判決下る ―七日午前二時陸軍當局發表―

〔東京國通至急報〕二月廿六日事件に參加關係せる將校下士官兵並に民間側人物は、三月四日の緊急勅令を以て特設せられたる陸軍軍法會議に附され、爾來四ケ月に亘つて審理中であつたが、曩に自決した元大尉野中四郎、河野壽を除き元將校以下下士官兵等に對し五日判決言渡しあり、七日午前二時陸軍當局より左の如く發表された

陸軍省發表

（七日午前二時）

去る二月廿六日東京に勃發したる叛亂事件に就てはその後特設せられたる東京陸軍軍法會議に於て愼重審判中の處、直接事件に參加したる將校一名元將校廿名（內二名は事件直後自決死亡す）見習士官三名、下士官二名、元准士官下士官八十九名、兵千三百五十八名陸軍省發表常人十名中起訴せられたる者は將校一名、元將校十八名、下士官二名、元准士官下士官七十三名、兵十九名、常人十名にして、七月五日その判決言渡しを終了せり右軍法會議の審判の結果に基く處刑及判決理由左の如し

處刑

▲將校
禁錮四年 步兵少尉 今泉義道

▲元將校

一、死刑

（首魁）元步兵大尉 香田清貞
同 安藤輝三
（謀議參與又は群衆指揮）元步兵中尉 栗原安秀
元步兵中尉 竹島繼夫
同 對馬勝雄
同 中橋基明
同 丹生誠忠
同 坂井直
元砲兵中尉 田中勝
元工兵少尉 中島莞爾
元砲兵少尉 安田優
元步兵少尉 高橋太郎
同 林八郎

一、無期禁錮

（謀議參與又は群衆指揮）元步兵少尉 麥屋清濟
同 常盤稔
同 鈴木金次郎
同 清原康平
同 池田俊彥

▲准士官

禁錮十五年 元步兵軍曹 宇治野時參
禁錮十三年 元步兵伍長 永瀨一
禁錮八年 元步兵曹長 渡邊清作
禁錮八年 元步兵曹長 大江昭雄
同 七年 元步兵曹長 尾島健次郎
同 七年 元陸軍步兵軍曹 野田正雄
同 七年 元步兵軍曹 青木銀次
同 七年 元步兵軍曹 小原竹二郎
同 四年 元步兵伍長 北島宏
同 三年 元步兵曹長 立石利三郎
同 三年 元步兵特務曹長 齋藤一郎
同 三年 元步兵軍曹 前田仲吉
同 二年 元步兵伍長 林武
同 二年 元步兵曹長 永田俊三
同 二年 元步兵曹長 常後目喜市
同 二年 元步兵軍曹 荒田正雄
同 二年 元步兵軍曹 伊高花吉
同 二年（三年間刑執行猶豫） 元步兵特務曹長 桑原雄三郎
同 二年（三年間刑執行猶豫） 元步兵曹長 福原若雄
同 二年（三年間刑執行猶豫） 元步兵曹長 矢宮光
同 二年（三年間刑執行猶豫） 元步兵軍曹 伊藤清治
同 二年（三年間刑執行猶豫） 元步兵軍曹 豐岡勳
同 二年（三年間刑執行猶豫） 元步兵軍曹 新井長三郎
同 二年（三年間刑執行猶豫） 元步兵軍曹 渡邊春吉
同 二年（三年間刑執行猶豫） 元步兵軍曹 [illegible]脇信雄
同 二年（三年間刑執行猶豫） 元步兵軍曹 中村安
同 二年（三年間刑執行猶豫） 元步兵軍曹 奧山粂次
同 二年（三年間刑執行猶豫） 元步兵軍曹 小川正義
同 元步兵伍長 鹿島增次
禁錮二年（三年間刑執行猶豫）
同 一年六月（三年間刑執行猶豫） 元步兵伍長 木部正義
同 一年六月（三年間刑執行猶豫） 元步兵曹長 堀宗一
同 一年六月（三年間刑執行猶豫） 元步兵曹長 田島粂治
同 一年六月（三年間刑執行猶豫） 元步兵軍曹 瀧川安雄
同 一年六月（三年間刑執行猶豫） 元步兵軍曹 藤倉寬一
同 一年六月（三年間刑執行猶豫） 元步兵軍曹 山本清安
同 一年六月（三年間刑執行猶豫） 元步兵軍曹 神田稔
同 一年六月（三年間刑執行猶豫） 元步兵軍曹 新井伊平
同 一年六月（三年間刑執行猶豫） 元步兵軍曹 大森丑藏
同 一年六月（三年間刑執行猶豫） 元步兵軍曹 井戸川富次
同 一年六月（三年間刑執行猶豫） 元步兵伍長 內田一郎
同 一年六月（三年間刑執行猶豫） 元步兵伍長 丸[illegible]毅
元步兵伍長 [illegible]島利元

▲兵

同 二年（三年間刑執行猶豫） 元步兵上等兵 中島南平
同 二年（三年間刑執行猶豫） 元步兵一等兵 坪井慶治
同 一年六月（三年間刑執行猶豫） 元步兵一等兵 倉友音吉

▲常人

死刑
（首魁）村中孝次
（首魁）磯部淺一
（謀議參與又は群衆指揮）澁川善助
水上源一

禁錮十五年 宮田晃 中島清治 黑田昶 綿引正三
禁錮十年 黑澤鶴一 山本又

二・二六事件 軍部側被告

「上段」（右）安藤輝三（中）中島莞爾（左）河野壽（自決）「中段」（右）對馬勝雄（中）安田優（左）清原康平「下段」（右）田中勝（中）丹生誠忠（左）野中四郎（自決）

民間側の被告

（右上より）北一輝、磯部淺一、村中孝次、龜川哲也、澁川善助（左上より）西田稅、山本又

判決理由要旨

一、原因動機

イ、村中孝次、磯部淺一、香田清貞、安藤輝三、栗原安秀、對島勝雄、中橋基明はつとに世相の頹廢心の輕佻を慨し國家の前途に憂心を覺へありしが、就中昭和五年の倫敦條約問題、昭和六年の滿洲事變等を契機とする一部識者の經世的意見軍內に興れる滿洲事變の根本的解決要望の機運等に刺戟せられ逐次內外の情勢緊迫し

我國の現狀は今や默視し

得ざるものあり、正に國民精神の作興、國防軍備の充實、國民生活の安定等正に國運の一大飛躍的進展を策せざるべからざるの秋に當面しあるものとなし時艱の克服打開に多大の熱意を把持するに至れり、此間軍隊教育に從事し兵の身の上を通じて農山漁村の窮乏、小商工業者の疲弊を知得して深く之等に同情し就中一死報國共に國防の第一線に立つべき兵の身の上に後顧の憂多きものと思考せり、澁川善助も一時陸軍士官學校に學びたる關係により同校退校後も亦在學當時の知己たる右の者の大部と相交はるに及び、これ等と意氣相投ずるに至れり

斯くて前記の者は此非常時局に處し當局の措置徹底を缺き內治外交共に萎靡して振はず、政黨は黨利に趨して國家の危急を顧みず、財閥又利慾に汲々として國民の窮狀を思はず、特にロンドン條約成立の經緯に於て統帥權干犯の所爲ありと斷じ斯の如きは畢竟元老、重臣、官僚、軍閥、政黨、財閥等所謂特權階級が國體の本義に悖り大權の尊嚴を輕んずるの致せるところとなし、一君萬民たるべき皇國本然の眞姿を顯現せんが爲速かに之等

所謂特權階級を打倒して

急激に國家を革新するの必要なる事を痛感するに至れり、而してその熱情性が國軍一般將士の健實忠誠なる思想と相容れざりしにより思想傾向相通ずる步兵大尉大倉榮一、同菅波三郎、同大岸賴好等の同志と氣脈を通じ天皇親率の下擧軍一體たるべき皇軍內に所謂同志觀念を以て橫斷的團結を敢てし又この前後より前記のものの大部は北輝次郎及び西田稅との關係を深めその思想に共鳴するに至りしが特に北輝次郎著日本改造法案たるやその思想根底に於て絕對に我國體と相容れざるものあるに拘らず、その雄勁なる文章等に眩惑せられ爲に素朴純忠に發せる研究思索も漸次獨斷偏狹となり不知不識の間に正邪の別を誤り國法を蔑視するに至れり

而してこの間に發生したる

昭和七年血盟團事件及び五・一五事件に於て深く同憂者等の蹶起に刺戟せられ益々國家革新の決意を固め右目的の達成のためには非合法手段もまた敢えて辭す可きに非ずとなし遂に統帥の根本を紊り兵力の一部を擅用するも已むなしとなす危險思想を包藏するに至れり、かくて昭和八年頃より一般同志間の連絡を圖りまたは相互會合を重ね種々意見の交換を爲すと共に不穩文書の頒布等各種の措置を講じ、一部のものにありては軍隊教育に當り、その獨斷的思想信念の下に下士官兵に革新的思想を注入してその指導に努めたり

次いで昭和十年村中、磯部が不穩なる文書を頒布せるに原因して昭和十年官を免ぜられるや著しく感情を刺戟せられ且つ上司よりこの種運動を抑壓せらるゝに及び愈々反撥の念を生じその運動頓に尖銳を加へ、更に天皇機關說を繞りて起れる

國體明徵問題の進展と共に

その運動益々熾烈となり、時恰も教育總監の交替あるやこれに關する一部の讒言を耳にし輕々なる推斷の下に一途に統帥權干犯の事實ありとなし大いに憤慨せるが、偶々相澤中佐の永田中將殺害事件に會し深く此擧に感動激發せらるゝ所あり遂に該統帥權干犯の背後には一部の重臣、財閥の陰謀策動ありとなすに至り、就中これ等重臣はロンドン條約以來再度兵馬大權の干犯を敢へてせる元兇なるも然もこれ等は國法を超越せる存在なりと獨斷し合法的にこれが打倒を企圖するとも到底その目的を達し得ざるによりよろしく國法を超越し軍の一部を擅用し直接行動を以てこれ等に天誅を加へざる可からず、然もこの行動は現下非常時に處する獨斷的義擧なりと斷じ更にこれを契機として國體の明徵、國防の充實、國民生活の安定を庶幾し軍上層部を推進して所謂昭和維新の實現を齎らさしむることを企圖せるものなり

ロ、竹島繼夫、丹生誠忠、坂井直、田中勝、中島莞爾、安田優、高橋太郎、林八郎、池田俊彥及び山本又も豫てより

我國現時の狀態を以て

國體の本義に反するものありとなし、特權階級を排除して所謂昭和維新を促進するの必要を痛感しつゝありしが昭和八年前後より逐次村中孝次等の思想信念に共鳴し同志として之等に接觸し遂に直接行動をも是認するに至れり

二、計畫及び準備

イ、昭和十年十二月第一師團が近く滿洲に派遣せらるべき旨の報傳はるや村中孝次、磯部淺一、栗原安秀等は第一師團將士の渡滿前主として在京同志により速かに事を擧ぐるの要ありとなし香田清貞及澁川善助と共に其準備に着手し相澤事件の公判を利用して或は特權階級腐敗の事情或は相澤中佐蹶起の精神を宣傳し、以て社會の注意を集め、且つ同志の決意を促しつゝありしが、今や諸情勢はまさに維新斷行の機熟せるものと看做し

爾來各所に於て同志の會合

を重ね、且つ近く決行する事を定め、且つこれが實行に關する諸般の計畫及準備を劃策し、又步兵大尉山口一太郎、北輝次郎、西田稅、龜川哲也等と所要の連絡をなせり

ロ、これらの具體案を決定するため昭和十一年二月十八日夜村中孝次、磯部淺一、栗原安秀、安藤輝三及亡元航空兵大尉河野壽は栗原安秀方に會合し襲擊の目標、方法及時期等に關し謀議の上、近衞步兵第三聯隊及步兵第一聯隊及步兵第三聯隊の各一部の兵力を出動せしめて在京一部の重臣を襲擊殺害し、別に河野壽の指揮する一隊をもつて伯爵牧野伸顯を襲擊殺害し、また豐橋市在住の同志をして興津別邸の公爵西園寺公望を襲擊殺害せしむること及び決行の時期を來週中とすること等を決定し、同月十九日磯部淺一は豐橋市に赴き對島勝雄にはかりて公爵西園寺公望襲擊殺害を確定せり

ハ、同月廿二日夜村中孝次、磯部淺一、栗原安秀、亡元航空兵大尉河野壽は再び栗原安秀方に會合し

蹶起の日時及び襲擊部署等

に就き謀議を遂げ同月廿六日午前五時を期し同志一齊に蹶起することに決し夫々部署を定めて總理大臣岡田啓介、大藏大臣高橋是清、內大臣子爵齋藤實、侍從長鈴木貫太郎、伯爵牧野伸顯、公爵西園寺公望を殺害すること、なし得れば宮城坂下門に於て奸臣と目す重臣の參內を阻止すること及び警視廳を占據しその機能及び活動を阻止すること並に陸軍省參謀本部、陸軍大臣官邸を占據し、村中孝次、磯部淺一、香田清貞等より陸軍大臣に事態收拾に就き善處方を要望すること等を謀議せり

ニ、同月廿三日栗原安秀は豐橋市に赴き對島勝雄、竹島繼夫等に右決定事項を傳達し襲擊に關する打合せを爲せり、同日頃澁川善助は村中孝次、磯部淺一等と東京小石川區水道端一丁目新進道場その他に於て連絡の結果、自らは神奈川縣湯ヶ原町に於ける伯爵牧野伸顯の所在を偵察すること及び同人は直接行動部隊に加はらず專ら外部にあつて被告人等の企圖達成の爲

策動する事等を謀議決定し

また同日夜村中孝次、磯部淺一、香田清貞、安藤輝三等は步兵第三聯隊に會合し內大臣子爵齋藤實私邸を襲擊したる後更に教育總監渡邊錠太郎私邸を襲擊し同人を殺害すること等を謀議決定せり

ホ、同月廿四日夜村中孝次、磯部淺一、栗原安秀、香田清貞、亡野中四郎等は步兵第一聯隊に會合し蹶起後企圖達成のため陸軍上層部に對する折衝は村中孝次、磯部淺一、香田清貞等に於てこれを擔當する事及部隊參加者は廿五日午後七時までに步兵第一聯隊に集合すること等を謀議決定せり

ヘ、以上謀議決定したる事項は極力之が秘密を保持しつゝ同月廿五日夕までにその全部又は所要の部分を他の同志に通達せしが、同志はこれを快諾若くは之に同意せり、但し麥屋清濟、鈴木金次郎、清原康平は未だ兵力を以て直接行動に入るの意を有せざりしも前記計畫の示達をうけ遂に小節の情誼に從ひ或は強制的勸誘を排するの氣力を缺き麥屋は中隊付として、また鈴木及清原は各所屬中隊下士官兵を率ひて之に參加を決意するに至れるものなり

ト、同月廿五日夕村中孝次は龜川哲也方に於て西田稅及び龜川哲也と相會し愈々明廿六日

拂曉を期し決行すべきこと

を告げ以て同人等と所要の連絡を告遂げ、且つ龜川哲也より蹶起資金若干を受領せり、同日夜村中孝次、磯部淺一、香田清貞等は步兵第一聯隊に會合し前記襲擊及び占據後陸軍大臣に對し要望すべき事項として

一、陸軍大臣の斷乎たる決意により速かに事態を收拾して維新に邁進する事

二、皇軍相擊つ不祥事を絕對に惹起せしめざる事

三、軍の統帥破壞の元兇を速かに逮捕する事

四、軍閥的行動を爲し來りたる中心人物を除く事

五、主要なる地方同志を即時東京に召致して意見を聽き事態收拾に善處する事

六、前各項を實行せられ事態の安定を見るまで蹶起部隊を現占據位置より絕對に移動せしめざる事

等を謀議決定し、且つ村中孝次の起草したる蹶起趣意なるものを印刷交附せり

チ、これより先、對馬勝雄は同月十九日豐橋の自宅に於て磯部淺一の來訪を受け

東京方面の情勢を承知し

相謀りて同時に豐橋市在住の同志を以て公爵西園寺公望を襲擊殺害すべき事を決定し、同月廿日以後竹島繼夫と共に同志步兵中尉井上辰夫、同板垣徹及一等主計鈴木五郎に對しこれが參加を求めたるに板垣徹はその贊否を留保し他の三名は何れもこれを承諾し、同月廿三日對島勝雄、竹島繼夫及び鈴木五郎は連絡のため來れる栗原安秀より東京に於ける襲擊計畫及び決行日時等に關する決定事項の通達を受け、靜岡縣興津町西園寺公望別邸の襲擊も豐橋陸軍教導學校の下士官兵約百廿名を以て同月廿六日午前五時を期して決行し同人を殺害すること並にその實行計畫の概要を謀議決定し、その後對島勝雄、竹島繼夫等は之が細部に關し準備するところありしが同月廿五日に至り板垣徹が兵力使用の點に就き敢然反對したるため遂に公爵西園寺公望襲擊を中止し、對島勝雄、竹島繼夫は急遽上京して同志の行動に參加するに至れり

三、行動概要

斯くて以上同志は相團結の上前記各決定事項に基き左の如く行動せり

一、栗原安秀、對島勝雄、林八郎、池田俊彥は首相官邸を襲擊し總理大臣岡田啓介を殺害する任務を擔當せるが二月廿六日未明所屬步兵第一聯隊機關銃隊下士官等に所要の件を傳達し次で非常呼集を行ひ

機關銃隊全員を舍前に整列

せしめ蹶起の趣旨を告げその一部を二部隊に配屬し自ら下士官兵約三百名を指揮し同四時卅分頃兵營を出發し同五時頃首相官邸を襲擊同邸を護衞せる警官村上嘉右衞門、土井清松、淸水與四郎及び小館清松の四名並に總理大臣秘書官事務囑託松尾傳藏を殺害したるも松尾傳藏を以て岡田首相と誤信したるために同人を殺害するに至らず

二、中橋基明、中島莞爾は大藏大臣高橋是清私邸を襲擊して同人を殺害する任務を擔當し二月廿五日夜近衞步兵第三聯隊第七中隊下士官兵約百二十名を守衞隊控兵と突入隊とに二分し前者は步兵少尉今泉義道をしてこれを率ゐしめ後者を以て同邸內に侵入して高橋藏相を殺害することを決定し翌廿六日午前三時頃中橋基明中島莞爾は同中隊營內に居住しつゝありし今泉義道の許に至り昭和維新斷行のため高橋藏相の殺害に赴く旨を告げ且つ行動を共にすべく勸告したるも諾否を明かにせざるをもつて中橋基明は吾々と行動を共にすると否とは自由に委す、但し蹶起後當然

守衞隊控兵の派遣ある

可きを豫想さるゝが故に控兵副司令たる貴官はたゞ控兵を引率せよと申渡し同室を出去れり、今泉義道は事玆に至り既に已むを得ずとなし、中橋基明の意に從ひ行動せんと決意するに至れり、次で同四時頃中橋基明は非常召集を行ひ明治神宮參拜と稱し下士官兵約百廿名を指揮し同四時卅分頃兵舍を出發し自ら突入隊を率ひ同五時頃大藏大臣高橋是清私邸を襲擊し同人を襲擊し次で一同々邸を退去し中島莞爾、中橋基明の指示により突入隊を指揮して內閣總理大臣官邸に到れり、一方今泉義道はシャム公使館附近に位置し中橋基明等の高橋藏相私邸襲擊間待機の姿勢にありしが中橋基明と共に襲擊後守衞隊控兵を率ひて守衞隊司令官の許に至り次で命令により坂下門の警戒に任じたる後同十一時頃勤務の交替を命ぜられ所屬聯隊に歸營せり

三、坂井直、高橋太郎、麥屋清濟、安田優は內大臣子爵齋藤實私邸を襲擊して同人を殺害し、更に高橋太郎、安田優は教育總監渡邊錠太郎私邸を襲擊し同人を殺害する任務を擔當し、下士官兵約二百名を指揮し同四時卅分頃兵營を出發し、同五時頃子爵齋藤實私邸を襲擊して同人を殺害し、その際身を以て內府の危害を

防がんとしたる夫人春子に

對し誤つて重傷を負はしめたる上同五時十五分頃一同同邸を退去し、坂井直、麥屋清濟は主力部隊を率ゐて陸軍省附近に至り尚高橋太郎、安田優は下士官以下約卅名を指揮して豫ての計畫に基き、赤坂離宮前に於て田中勝の交附せる軍用自動貨車に搭乘し、教育總監渡邊錠太郎私邸に向ひ、同六時過頃同邸を襲擊し、妻鈴子の制止を排し同人を殺害し

四、安藤輝三は侍從長官邸を襲擊し侍從長鈴木貫太郎を殺害する任務を擔當せるが二月廿六日午前三時頃非常呼集を行ひ全員を舍前に整列せしめ同三時三十分頃侍從長官邸を襲擊し侍從長に數個の銃創を負はしめ次で夫人孝子の懇請に依り之を止め遂に殺害するに至らず同五時卅分頃一同々邸を退去し麴町區三宅坂附近に至れり

五、常盤稔、清原康平、鈴木金次郎は亡野中四郎の指揮の下に警視廳を占據するの任務を擔當し二月廿六日午前二時頃各所屬中隊の非常呼集を行ひ准士官以下約五百名を指揮し同四時三十分頃兵營出發、同五時頃警視廳前に到着し同廳司法省側及び櫻田門側道路上數ヶ所に機關銃、輕機關銃、小銃若干分隊を各配置し又同廳屋上に輕機關銃、小銃若干分隊を配置し更に一部を配置して電話交換室その他各室入口を扼し、外部との通信を妨害せり

六、丹生誠忠は陸軍大臣官邸を占據し陸軍省參謀本部周圍の交通を遮斷し香田清貞、村中孝次、磯部淺一等の

陸軍上層部に對する折衝

を容易ならしむるを任務擔當したるが二月廿六日午前四時頃非常呼集を行ひ下士官兵約百七十名を指揮し村中孝次、竹島繼夫、磯部淺一、山本又等と共に同四時卅分頃兵營出發、同五時頃陸軍大臣官邸に到着し主力部隊を以て同官邸表門に位置せしめ以て特定人以外の出入を禁止せり

七、田中勝は所屬野戰重砲兵第七聯隊の自動車を以てする輸送の任務を擔當したるが、二月廿六日午前二時卅分頃下士官兵十三名に對し夜間自動車行軍を兼ね靖國神社に參拜なすと稱し聯隊備附の常用自動車三輛、速射砲附自動貨車一輛、同自動車一輛を指揮して午前三時十五分兵營出發、途中靖國神社に參拜し次で宮城を拜し同五時頃陸軍大臣官邸に到着し磯部淺一の指示により直ちに常用自動車に搭乘し且つ兵二名をして

自動貨車一輛を運轉せしめ

共に赤坂離宮前附近に至り折柄齋藤內府私邸の襲擊を終り更に渡邊教育總監私邸襲擊の爲待合せゐたる高橋太郎、安田優の指揮する部隊に右自動車を交附し次で同九時頃栗原安秀、中橋基明、中島莞爾、池田俊彥が東京朝日新聞社を襲擊するに當り常用自動車一輛を之に交附して其他その部隊の輸送に當て自動車二輛を之に交附し以て所屬自動車の常用自動車或は首相官邸備附の常用自動車を使用し以て連絡輸送に任じたり

八、栗原安秀、中橋基明、中島莞爾、池田俊彥は同月廿六日午前九時頃下士官兵約五十名を指揮し軍用自動車三輛に分乘して東京朝日新聞社を襲ひ同社をして一時新聞發行不能ならしめ、次で東京日々新聞社、時事新報社、國民新聞社、報知新聞社及び電報通信社等各社を廻はり蹶起趣意書を配布しこれが揭載を要求して首相官邸に歸還せり

九、澁川善助は二月廿三日神奈川縣湯ヶ原町に赴き牧野伸顯の所在を偵察したる上歸京し事件勃發後は外部にありて同志等の企圖を達成せしめんがため同月廿七日夜麴町區九段一丁目中橋照夫と相謀り豫て氣脈を通じ居たる山形縣農民青年同盟長谷部精十郎等をして相呼應して事を擧げしむる事に決定し

前記中橋に之が實行のため

[illegible]

十、亡河野壽は神奈川縣湯ヶ原町伊豆屋旅館貸別莊に滯在中の牧野伸顯殺害の任務を擔當し二月廿五日夜豫ねて步兵第一聯隊に集合せる步兵軍曹宇治野時參外兵一名並に民間の同志宮田晃、中島清治、黑田昶、水上源一及綿引正男を指揮し輕機關銃二銃を携行し翌廿六日午前零時四十分頃自動車二輛に分乘出發し同五時頃湯ヶ原町に到着し伊東屋旅館より貸別莊を襲擊して牧野伸顯を搜索したるもこれを發見し得ざるに依り同別莊に放火してこれを燒殺せんとして同所に於て右襲擊に當り護衞巡查皆川義孝を射殺したる外附添看護婦森鈴江に銃創を

折柄消火のため駈けつけた

岩本龜三に銃創を負はしめたるも遂に牧野伸顯殺害の目的を遂ぐるに至らず、この間水上源一は亡河野壽の重傷を負ひ再起し難きを知るや爾餘の者を指揮督勵して率先拔刀して屋內に闖入し或は牧野伸顯を鏖殺せんとして家屋に火を放ち或は消火のため駈けつけたものに對し刀を振りかざして威

十一、[illegible]

維新斷行のため善處を要望

[illegible]

十二、[illegible]

部隊を集結する事に一決

[illegible]

裏面へ續く

小藤大佐に對し その措置の

不當を難ぜるが偶々小藤大佐は戒嚴司令官に對し下されたる「占據部隊を速かに原所屬に復歸せしむべき」旨の勅令に基く第一師團命令を受領しこれが傳達を企圖せる時なりしも同人等の感情の激化甚しきにより暫くこれを保留せり

これと前後して中村孝次、香田清貞、對島勝雄等は午前十時頃第一師團司令部に至り師團長及參謀長に對し勅命の下令なき樣斡旋方を陳情し

陸相官邸に 歸來せるに

山下少將來邸し之等首腦者に對し勅令に基く行動の實施近きこと確實なるを以て善處すべき旨通諜するところあり、仍つて首腦者一同會議の結果自決の決心を爲し偶々說得に來れる師團長及び小藤大佐に對して陛下の御命令に服すべき旨誓ひたるも北輝次郎西田稅等の電話激勵と一部幹部中同朝來四圍の情勢の急變と各種情報の混亂、錯綜とに鑑み復歸命令は眞の大御心にあらざるべしと主張するものあり又第一線を指揮しありたる者も狀況の不明に起因し或は流言に惑はされ心境一變し包圍部隊が彈壓の措置に出づるに於てはあくまで現位置を固守して交戰せんと決意し同月廿八日夕より首相官邸、新議事堂、陸軍省、山王ホテル等に位置して戰鬪準備を爲すに至れり

一四、斯くて戒嚴司令官香椎中將は小藤大佐に對し之等部隊の指揮權を解除し一般包圍部隊に對し廿九日朝を期し一齊に占據地區の掃蕩を下命するに至りしが叛亂幹部の大部は廿九日早朝ラヂオ放送並に撒布せられたるビラ等により勅命に基く行動の既に開始されたるを覺知し

且つ包圍部隊の 逐次緊迫

せるを目擊し抵抗を斷念して下士官兵に對し屯營に歸還を命じ叢に被告人等の手裡を自から脫して歸營せる數十名を併せて同日午後二時頃までに下士官兵の全部歸順するに至れり

爾後山本又を除き幹部全員陸相官邸に集合しその多くは自決を決意したるも一部の者は其時期に非ざるを主張し遂に亡野中四郎を除くの外一同自決を斷念し同日夕何れも東京衞戍刑務所に强制收容せられ山本又はこの宗教心より同日正午頃逃れて身延山に向ひしが三月四日東京憲兵隊に自首せり

一五、大江昭雄及び齋藤一郎は二月廿五日夜中橋基明より明朝他部隊と共に蹶起すべき旨申聞かされたるところ大江は豫てより舊上官たる同人より昭和維新斷行の要に就き啓蒙を受け同人等の企圖の一部を知悉しゐたるより大隊の指揮系統を離れて之に參加せん事を決意し、齋藤一郎も亦豫てより中隊長代理たる同人が國家革新思想を抱懷しある事を知りゐたるを以て同人が命令に假託して犯罪を强要するものなるを了知したるも平素の情誼上これを拒み得ずして參加を決意し廿六日非常呼集により中隊兵員と共に中橋基明指揮の下に屯營を出發し同五時頃高橋藏相私邸に至り

齋藤一郎は同邸 屋內に侵入

し藏相の所在を搜索したる上同邸を退去し次で中橋基明と共に守衞第二小隊長として宮城內の警戒に任じたり

近江昭雄は輕機に小分隊を率ゐ前記高橋邸前方路上に於て憲兵、警察官に警戒しゐたる後部隊を率ゐて首相官邸に向ひ栗原部隊に合流しこれと共に行動し居たり

一六、前田新吉は二月廿五日より丹波誠忠より明廿六日早朝を期し昭和維新斷行のため蹶起する旨を告げられ次で廿六日午前二時卅分頃蹶起趣意書と題する檄文を讀み聞かされ且つこれが配布を受け、更に當中隊の任務等を告げらるゝや直ちに參加を決意し非常呼集により中隊兵員と共に丹生誠忠の指揮のもとに屯營出發午前五時頃陸軍大臣官邸に到着するや兵五名を率ゐて陸軍省通信所に至り電話等による通信機關の使用を禁止したり

一七、尾島健二郎は二月廿六日午前三時頃舊上官たる栗原安秀より昭和維新の旨を告げらるゝやかねて同人より國家革新の思想を注入せられ之に共鳴したるところより所屬系統を離れて直ちに之に參加を承諾し同人の指揮の下に屯營出發、機關銃小隊長として兵約六十名を率ひ總理大臣官邸裏門に至り各分隊を部署して同邸外部の警戒を爲さしめ且つ自らその警戒線を受持ち前後引續き部下を率ひて同官邸に位置せるものなり

一八、林武及び新田正夫は二月廿五日夜所屬中隊週番士官たる坂井直より蹶起の趣旨を告げらるゝや自ら進んで本行動に參加する意思なきも

上官の言辭に 魅惑され

且つ平素の命令服從關係に拘束せられ、その違法なることを推知しつゝも已むなく齋藤內大臣邸襲擊に參加せり、なほ新田正夫は出發前坂井直の指示により聯隊彈藥庫を開扉し、實包を取り出し之を各中隊彈藥受領者に交付したる後指示に基き分隊長として齋藤內大臣私邸襲擊に參加し同邸內に侵入して同家裏側の警戒に任じたり

一九、林武は齋藤內大臣邸襲擊に當り輕機關銃分隊長として兵十四名を率ひ同邸內に侵入し坂井直の命により輕機關銃をもつて女中部屋門戶を破壞せしめ同所より屋內に入り齋藤實子の所在を搜索して階上寢室に闖入し坂井直等が齋藤實子を射擊したる際拳銃六發を發射せり、尙ほ林武は右襲擊後渡邊教育總監私邸襲擊に分隊長として參加せり

長田露及堂後目喜市は二月廿五日夜中隊長安藤輝三より明朝蹶起して

鈴木侍從長を 襲擊すべき

旨を告げらるゝや同人が命令の强制下に參加せしめんとするものなるを諒知したるも平素の情誼上これを拒み得ずして出動を決意し小隊長の任を帶び安藤輝三指揮の下に屯營を出發し廿六日午前四時五十分頃前記侍從長官邸附近に至り長田露は第一小隊長として下士官兵約八十名を率ひ同官邸裏門より邸內に侵入し鈴木侍從長に對し拳銃を發射し、又堂後目喜一は第二小隊長として兵約八十名を率ひ同官邸裏門より邸內に侵入し侍從長に對し拳銃を發射し次で安藤輝三に從ひ部下を率ゐて陸軍省、新議事堂、幸樂及び山王ホテル等に位置したり

二〇、立石利三郎は第七中隊長たりし亡野中四郎より本行動に參加を求めらるゝや所屬隊週番士官に何等報告することなく統帥を亂ることを承知しつゝこれに同意し同機關銃隊下士官四名、兵約七十名を指揮し機關銃八及び同實包を携行して野中部隊の警視廳襲擊に參加せり

二一、伊高花吉は安藤輝三の思想に稍々共鳴しありしが二月廿五日夜所屬中隊鈴木金次郎に伴はれ第七中隊長亡野中四郎の下に至り參加の決意を促がさるゝや之に同意し

且統帥を亂る 事を察知

しつゝ第十一中隊附須田軍曹に參加を勸誘せり、出動後は警視廳占據部隊に加はり輕機關銃分隊長として兵廿名を率ゐ同廳前の警戒等に任ぜり

二二、北島弘、渡邊淸作、青木銀次、永瀨一は二月廿五日夜所屬中隊週番士官坂井直より蹶起の趣旨を告げらるゝや直ちにこれに同じ、次で永瀨は蛭田正雄に青木は小原竹次郎にその旨を傳へ、且つ何れも所屬中隊週番士官に何等報告する事なく密かに二年兵の一部を率ゐて坂井部隊に加はり、內大臣齋藤實私邸の襲擊に參加せり

右襲擊後更に蛭田及永瀨は共に輕機關銃分隊長として渡邊教育總監私邸の襲擊に參加せしが、特に永瀨は同邸外庇を射擊破壞し或は自ら進んで屋內に侵入し

安田優に續いて 寢室に殺到

し既に斃れたる總監の肺部に對し拳銃を發射せり、なほ永瀨は入營前より國家の研究に志し、明治維新烈士の言行を敬愛しありしが、入營後安藤輝三の指導と相俟つて國體顯現のためには一身の犧牲とし、直接行動をなすも敢て辭せざるの信念を有するに至れるものなり

前記の者は二月二十五日栗原安秀の招致により同夜宇治野時參、黑澤鶴一は擅に其の本屬部隊を離れ同隊機關銃隊栗原安秀の下に參集し其他の者は隊外より來り會し栗原より實行計畫の概要を說示せられ且つ亡河野壽指揮の下に在湯ヶ原伊東屋旅館貸別莊牧野伸顯襲擊暗殺の任務を授けらるゝや何れも勇躍參加したるものにしてその襲擊に當りては宮田晃は黑田昶と共に亡河野壽に從ひ奧內に闖入し巡查皆川義孝を殪したるも河野及び宮田と共に重傷を負ひたり

宇治野時參、宮田晃、中島晴治、黑田昶、黑澤鶴一、水上源一及び綿引正藏等は夙に栗原安秀の思想信念に共鳴感激し特に水上は軍隊を利用するに非ざれば革命に成功し得ずとの信念に基き青年將校中

多數の同志に 進んで接近

し又自宅その他の各所に於て栗原と會合を重ね直接行動の目標實行方策並にその時期等に關し屢々意見を交換し且つ同人より多額の資金を受け只管蹶起の時期を待望し居たるところ黑田昶は最初同別莊裏口より闖入し拳銃を亂射し次で同別莊裏側道路に通り牧野伸顯の脫出を警戒中火焰に追はれ裏庭湯殿附近の空地に避難せる婦女子數名中に同人らしき姿を認め直ちに天誅と叫び拳銃三、四發を亂射せり、宇治野時參は日本刀を携へ最初水上源一に從ひ同別莊玄關に向ひたるが同人放火後は同別莊西南側高地附近に於て牧野伸顯の脫出及び警官隊の來襲を警戒し次で炎上中の屋內に輕機關銃を亂射せり

綿引正藏は警衞巡查らしき寢卷姿の男三名を發見するや拳銃を擬して威嚇擊退し次で水上源一の放火後は同別莊東側石垣上に數名の婦女子が避難躊躇しあるを認め、その中に牧野伸顯も潜伏しあるべしと直感しこれに向ひ拳銃を發射せり

中島淸次、黑澤鶴一は最初外部の警戒に任じありしが水上源一の區所により輕機關銃又は拳銃を以て附近に亂射威嚇せり

水上源一の行動に就ては行動概要十に述べたるが如し

罪狀

被告人中將校、元將校及び軍要なる常人等が國家非常の時局に當面して激發せる憂世憂國の至情と一部被告人等がその進退を決するに至れる諸般の事情とに就ては之を諒とすべきもののなきにあらざるもこの行爲たるや聖諭に悖り理否順逆の途を誤り國憲國法を無視し然も建軍の本義に悖り苟も大命なくして斷じて動すべからざる皇軍を擅用し下士官兵を率ゐて叛亂行爲に出たるが如きはその罪誠に重且大なりと云ふべし、よつて前記の如く處斷せり

又下士官中有罪者一部の者にありては黨を結び兵器を執り叛亂をなすに至り進んで諸般の職務に從事したるものと認め得べしと雖もその他のものにありては自ら進んで本行動に參加するの意思なく平素より上官の命令に絕對服從するの觀念を馴致せられあり、尙同僚始め大部隊の出動する等四圍の狀況上これを拒否し難きものある爲已むなく參加し其時に於ても唯命令に基き行動したるものにして今や深くその非を悔ひ改悛の情顯著なるものあるを以て之等のものに對しては刑の執行を猶豫し爾餘の下士官は上官の命令に服從するものなりと確信を以ての行動に出でたるものと認め罪を犯す意なき行爲としてこれを無罪とせり

關係者畧歷

▲元步兵大尉安藤輝三(三二)は岐阜縣の出身で大正十五年十月廿五日少尉に、昭和四年十月廿五日中尉に、同九年八月一日大尉に任官、澁谷區上馬町八六四の自宅にはふさ子夫人(二四)との間に長男輝雄君(三ツ)と次男秀雄君(一ツ)の二兒があり、父君榮次郎氏(六九)は五十年前に岐阜縣を出て鹿兒島、石川、栃木、長野各縣下に英語教授として歷任、現在は慶應義塾の舍監をしてゐる

大尉の長兄榮一氏(三六)は滿鐵、次兄德一氏(三四)は丸の內大多喜天然ガスに夫々勤め妹のふじゑさん(二三)は大尉と一緒に暮してゐた

ふさ子夫人は靜岡上市太夫町紙商佐野益藏氏の長女で佐野氏と榮次郎氏が知己の關係から縣立靜岡高女卒業後昭和六年大尉の許に嫁して來たのである

▲元步兵大尉香田清貞(三四)は東京府の出身、佐賀縣小城郡三日付村大字久米の生れ小城中學を經て縣育英會の給費生として幼年學校士官學校に學んだ、嚴父卯七氏は佐賀聯隊特務曹長時代退役、その後鍋島子爵家の家扶となつたが後某保險會社に勤めてゐる、府下武藏野吉祥寺六一八の自宅には富美子夫人(二六)との間に一男一女がある

大正十四年三月五日少尉
昭和三年三月八日中尉
昭和九年三月五日大尉

▲元步兵中尉中橋基明(三〇)は佐賀縣の出身世田谷區太子堂町退役陸軍少將重井明平氏の次男であるが、幼時祖母佐賀市水ヶ江町中橋米千代さんの養子となつた、然しその後も引續き實家で成育した

養父(母の祖父)藤一郎は江藤新平の佐賀の亂に司令を勤め廿八歲の若年で刑場の露と消えてゐるのも奇しき因緣である

昭和四年十月廿五日少尉任官
同　七年十月廿五日中尉任官

▲元步兵中尉栗原安秀(二九)は東京府の出身、目黑區上駒場八〇四退役陸軍步兵大佐栗原勇氏の長男で少年時代から情悍な性格であつた

昭和四年十月廿五日少尉任官
同　七年十月廿五日中尉任官

▲元步兵中尉坂井直(二七)は三重縣の出身昭和七年十月二十五日少尉任官と同時に步兵第三聯隊付となり同九年十月二十日中尉に昇進事件前の二月九日結婚式を擧げたばかり、嚴父が其の新居を見るため上京中あの事件が起つた

▲元砲兵中尉田中勝(二六)は山口縣の出身で山口縣長府町の實家には父富作氏、母信子さんが居り、實姉早苗さんは下ノ關市關西小學校に教鞭をとつて居る

元中尉は昨年十二月下關市富田町平山幸一氏の妹久子さん(二四)と結婚したばかりで東京江戶川區小岩町に新居を構え新妻と二人睦じく暮してゐた

昭和八年十月廿日砲兵少尉任官
昭和十年十月十日砲兵中尉任官

▲元步兵少尉林八郎(二三)は事件連坐の將校中最も數奇な環境を持つてゐる

昭和七年三月一日江灣鎭に於て名譽の戰死を遂げた林大八聯隊長は彼の實父であつた、兄俊一君(二四)は赤の運動に關聯して六森署に檢擧されて居り、あまりにも皮肉な對照である

▲元步兵中尉竹島繼夫(三〇)は滋賀縣の出身、士官學校四十期生で昭和三年十月少尉任官、步兵第三聯隊附となり、同九年八月豐橋陸軍教導學校に轉じ、十年五月靜岡市より夫人を迎へたが數ヶ月後離緣し、その後は下宿住ひをしてゐた

▲元步兵中尉對馬勝雄(二九)は青森縣の出身、青森中學一年から仙臺幼年學校に入學士官學校は竹島より一年後輩の四十一期生昭和四年十月少尉任官、同六年中尉に昇進一昨年任地で結婚し今年初頭一子を儲けたが事件直前離別してゐる

▲元步兵少尉高橋太郎(二四)は埼玉縣の出身、埼玉縣粕壁中學から東京成城中學に轉じ同校四年より士官學校に入つた、實姉このさんの牛込區市ヶ谷町五六から通勤してゐた

昭和九年六月廿九日士官學校卒業
同年十月廿七日少尉任官

▲元步兵少尉淸原康平(二三)は熊本縣の出身、縣立濟々黌より士官學校に入る熊本市湯川茂雄氏の長女知惠子(二〇)さんと結婚したばかりである

昭和十年六月廿九日士官學校卒業
同年九月廿七日少尉任官

▲元工兵少尉中島莞爾(二五)は佐賀縣の出身、嚴父荒次郎氏は退役步兵中尉、長兄卓逸氏は新京駐在の步兵中尉である

▲元砲兵少尉安田優(二五)は熊本縣の出身父淸五郎氏(五八)は宮地村長其他の公職をつとめる名望家である

昭和九年十月二十日砲兵少尉任官

▲元步兵中尉丹生誠忠(二九)は鹿兒島縣の出身

昭和六年十月廿六日步兵少尉任官
昭和九年三月五日步兵中尉任官

▲元步兵少尉池田俊彥は[illegible]十年六月士官學校卒業
昭和十年九月廿七日少尉任官

▲元步兵少尉麥屋淸濟[illegible]十年九月一日步兵少[illegible]

▲元步兵少尉常盤稔は[illegible]年六月士官學校卒(四[illegible]期)同年九月少尉任[illegible]

▲元步兵少尉鈴木金次[illegible]和十年六月[illegible]月少尉任官

▲村中孝次は札幌の出身、十歲で步兵少尉に任官、山學校卒業と共に中尉に進、陸大卒業後昭和八年尉に進み、昭和九年四月日停職處分に附された

▲磯部淺一は山口縣の出身、野砲兵第一聯隊附一等主計であつたが、村中と共に[illegible]

[illegible]に轉じ[illegible]より昇進して少尉に任官、豫備役に入つて鄉里に居たが最近は東京府下某立中學の劍道師範(四段)をしてゐた

▲澁川善助は福島縣の出身仙臺幼年學校を首席で通した秀才、陸士卒業間際上官と意見衝突して少尉に任官せず退いた本年卅一歲

▲水上源一(三九)は、原籍東京市神田區西神田二ノ一の生れ、日大法科卒業、函館商船を經て[illegible]んでゐたが豫てから右翼思想を抱き埼玉挺身隊事件にも關係し澁川善助らと識へ、栗原安秀元中尉とも親交を結び昨年九月麻布區龍町一二に移り住んでからは栗原元中尉らの青年將校が頻繁に同家に出入してゐた

初音夫人(二六)との間に長女宣子(三ツ)があるが家族は事件後今年五月澁谷區圓山町四佐藤ハウスに引越し世をしのんでゐる

▲步兵少尉近衞步兵三聯隊今泉義道(二三)は原籍、住所神奈川縣鎌倉郡鎌倉大町一一〇八にして大正三年五月廿四日生れ昭和十年陸士卒同十月少尉任官事件に至る

本號外は本紙に再錄致しませぬ

新京日日新聞 夕刊 七月八日

特産輸出大手筋が對歐輸出組合を結成

七日第一回創立打合會開催

【大連國通】滿獨通商協定の成立に伴ひ對歐輸出の改善に資するため滿洲國政府筋では豫てより輸出組合の結成を慫慂して居たが、愈々滿洲特産物の歐洲向け大手輸出筋たる三井、三菱、日清、ワツサルド、ドレフユース各社の間に於て對歐輸出組合を組織することゝなり、七日ヤマトホテルに各社代表參集第一回創立打合會を行ひ規約原案に就き協議する所あつた、右の組合は理事二名幹事一名を置き特産中央會常務理事を名譽理事として事務所は特産中央會支部に置く事となり滿洲國政府の認可を求める事になつた

印度政府が突如

英國綿織物の關税引下げ

【大阪國通】インド政府は去る六月廿五日より抜打的にイギリス綿織物に對する輸入關税五分引下げを實施し、第二次日印會商を目前に控へて我が當業者に衝動を與へたが、綿業團體よりなる第二次日印會商準備委員會では七日對策協議會を開き協議の結果インド側の一方的對英綿布關税引下げは日印協定の根本精神に反するものなりとの强硬決議を行ひ外務當局に嚴重抗議方陳情する事となつた

ボンベイ 人絹業取扱者

日本品の輸入に反對意見

【東京國通】在ボンベイ石川領事より七日外務省入電によれば近くシムラに開催される第二次日印會商に於るインド側代表商務次官アレキサンダー・スチユアード氏は日印會商に備へて當業者の意見を徴すべく嚢にボンベイに赴いて居たが、當地實業家は又氏に對し日本よりの低廉なる人絹織物は阻止すべしフエンツ及紡績業の問題をも提議すべき日印條約の根本的改正又は廢棄の要ありと强硬意見を披瀝したとの事で第二次日印會商は前途多難を思はせて居る

アフガニスタン 對日貿易促進に乘出す

【東京國通】在アフガニスタン北田公使より七日外務省への入電によればアフガニスタン政府はソ聯との貿易調整のため豫ねて對ソ貿易會社を設け、之に同國との貿易を獨占せしめて居るが、今回日本に對しても同樣の會社を設け對日貿易を獨占せしめる事になつた、右會社の資金は一千百萬アフガニンで、本社をカブールに置き今後の日ア貿易は新會社を通じて行はれる事になつた

外國使臣に鮎漁御差許し

【東京國通】畏き邊りでは在京外國大公使御優遇の思召を以て來る九日岐阜縣長良川筋御漁場にベロツシヤ駐日ブラジル國大使、許駐日支那大使その他十六大公使並に夫人令孃を御召し、雅致に富む鮎漁の參觀を差許される旨仰出された 當日豪雨又は增水の際は御取止めとなる御豫定である

川崎第百銀行

川崎貯蓄、東京貯蓄を合併

【東京國通】川崎第百銀行では豫て川崎系の川崎貯蓄銀行及び東京貯蓄銀行の合併交渉を進めて居たが、今回三銀行間に諒解成立し大藏省では七日之を認可する事に内定した 公稱資本金三千百九十八萬八千五百圓拂込二千八百七萬圓の銀行となる、而して川崎第百銀行は川崎貯蓄、東京貯蓄銀行の預金及び資産一切を繼承するので兩行の預金總額三億三千八百萬圓を引繼ぎ七億一千萬圓の預金を有することゝなり、六大銀行に匹敵する大銀行となる譯である

東京商品館店開き　東京で生産される商品の爲め新設された東京商品館は七月四日から店開きをした

新海峽條約に對する「帝國政府の態度」

【東京國通】六日再開されたモントルー會議の結果英ソ間に妥協成立し新海峽條約は大體十一日前後を期して調印の運びとなる旨報道されてゐるが我外務省にはまだ右に關し佐藤代表より何等の公電も到達してゐない 而してモントルー會議に對する帝國政府の態度は左の如く有田外相は七日これが根本方針を佐藤代表に對し訓電した

一、海峽條約に關し帝國政府は國際聯盟との政治的協力をあくまで拒否する、從つてトルコ政府が戰時に於て聯盟の決議に基き海峽の自由航行を制限する形式は帝國の根本方針と合致しない 帝國政府は聯盟とは別個にこれと同等の權限を以て新條約の締結に參加する

沿岸海軍國と非沿岸海軍國とは黒海に於て平等の力を把持し得ることと艦の海峽通過はこれ[illegible]すること

海軍豫算省議

【東京國通】海軍では來る十日の閣議に永野海相より提出説明すべき新軍備充實計畫の大綱と之に要する經費並に明年度豫算の概算を決定するため七日より三日間省議を開催するが、この三日間に亙る省議に於ては永野海相が十日の閣議で説明する新軍備充實計畫案の繼續年度と繼續費年度割當等の大綱を決定するのみだから明年度海軍豫算要求概算は早くて八月上旬頃出來上る模樣である、從つて明年度豫算編成の重點となる陸海軍事費の決定までには相當の時日を要すべく大藏當局は早くも編成に苦心して居る

て日本各地の學校並に農事施設視察のため七日午後五時發列車で北平を出發したが明朝塘沽解纜の長沙丸に乘船の筈

造船界に再び黄金時代來る

建造スピードアップも及ばず

【東京國通】我國最近の建造船舶は各月十六、七萬噸に達する盛況で然も建造註文で一杯の內地造船所では今後の受註は明年夏以後ならでは不能の有樣であり、一部船主中には海外發註の可能如何が考慮されつゝある、從つて之が對策として船舶建造のスピードアップに熱中し五、六千噸の中型船は四ヶ月程度に短縮され優良二萬噸型の大捕鯨船が十ヶ月以內に竣工するが如きは世界造船記錄を作つてゐる 眼前の問題としては遞信當局の四ヶ年千萬噸優秀船計畫及び船舶改善强化の第四次五ヶ年で五十萬噸改善計畫が何等かの形式に纏つた曉には船臺の增設が必至で茲數年は造船界黄金時代であらう

兩廣軍全面的に撤退開始

【廣東七日發國通】南部江西駐屯の余漢謀軍（第一軍）三ヶ師は六日から第三師を先頭に第二、第一師の順序で廣東省へ向つて撤退を開始した、他方南部貴州の獨占一帶にあつた廣西軍も同時に省內に向つて撤退を開始したと言はれるが要するに西南側は福建、江西、湖南、廣西の四省に亙り兩廣軍は既に戰略的轉換を終つた、然し乍ら遙かに有利な中央軍のため全面的に壓倒されつつあり僅か南部湖南の一角でのみ攻勢的態度をとつてゐる、廣西軍も結局守勢に轉ずるの外ないと見られ、陳李、白諸氏の急激な軍備擴張と省境に於ける必死な防備强化にも拘らず軍事行動の全面的退嬰化は日に日に加はり就中廣西は財政經濟の破綻に直面して悲觀氣運各方面に濃厚である

航空統制法

來週早々公布されん

【東京國通】航空統制法關係の三勅令は七日の閣議に於て正式決定したので政府は直ちに上奏御裁可の手續をとつたが、來週早々航路統制法施行細則（遞信省令）と共に公布される筈でこれに依り航路統制法は愈よ八月一日から施行されることゝなつた、尚航路統制法施行令の主要點は

一、法第二條所定の沿岸區域で營む海運業中本法適用の範圍を定めたこと

二、法第七條所定の外國人經營の海運業に對し本法准用の程度を定めたことである

渡少將上海へ

【北平七日發國通】參謀本部第二部長渡少將並に支那班長高橋中佐は午後八時半平瀋線にて南下した

田代司令官歸任

【北平七日發國通】北平部隊の巡視並に外國側各機關への正式挨拶を行つた田代司令官は七日午後五時發列車で歸任した

北平大學教授團 日本視察の途に

【北平七日發國通】北平大學農學院敎授劉伯文氏以下十名の教授團は約一ヶ月間に亙つ

メキシコ公使 愛機操縱中墜落

【東京國通】東鄕青兒畫伯の武者繪を方向舵に描いて遙々故國へ飛行しようと準備中のメキシコ公使フランシスコ・ホータ・アギラール少將は七日午後四時過ぎ羽田飛行場で愛機リライアントに令息アギラールさん（一八）をのせ公使自ら操縱練習飛行を試み着陸しようとした刹那操縱を誤り飛行場コンクリートの壁に激突させ、プロペラ、翼を大破、公使と令息は全身に打撲傷を負ひ直ちに附近病院に收容應急手當を受けてゐる 尚兩氏共相當の負傷の模樣である

六月中公債發行並償還額

【東京國通】大藏省發表＝六月中に於る公債發行額は四億千七百七十六萬千圓、償還額は內國債四億五百五十九萬圓、外國債百十六萬千圓、合計四億六百七十五萬千圓にして月末現在では差引一億一千一萬圓を增加し總額九十八億七千四百九十九萬五千圓と漸次百億臺に迫りつつある

ウルグワイに日本農業移民入植計畫

【東京國通】ウルグワイ國から日本農業移民を入國させたいといふ希望が此程同國駐剳荒木領事代理から外務省に齎らされた、これはウルグワイ國の特産小麥、羊毛、畜産の奬勵の爲め熟練せる日本農民約二百家族を試驗的に入國せしめようとするものでウルグワイ國勸業銀行は一家族につき廿町步以上の土地を提供、同國政府は移民に對し學校その他の文化的施設を與へるといふ案で目下同國議會に提出中のもので通過すれば兩國關係は密接化するであらう

內、鮮、滿、臺間運輸連絡會議

【東京國通】鐵道省では內地朝鮮、滿洲、臺灣相互間の旅客及び貨物の連絡運輸施設の改善に關する協議のため來る十三日より三日間鐵道省に於て第十二回內、鮮、滿、臺連絡運輸會議を開催することゝなつた

人事往來

▲笠間ポルトガル全權公使 八日午前六時二十五分着京 同七時內地へ
▲高柳保太郎氏（滿洲弘報協會理事長）同八時五十分大連より
▲熊生少將 同
▲張益三氏（安東地區警備司令官）同九時奉天へ
▲和泉海軍少將 同八時五十分大連より
▲井高岩一郎氏（神戸海上保險支配人）八日午前ハルビンへ
▲岡崎眞一氏（同社員）同
▲千金橋伊一郎氏（三井物産）同
▲奥津三郎氏（滿洲鑛業社員）同大連へ
▲齋藤勘七氏（ガス會社）同吉林へ
▲隅野光世氏（滿鐵）同
▲永淵三郎氏（航空會社）同奉天へ
▲後藤廣三氏（滿航常務取締役）同
▲黒岩貞雄氏（櫻ビール社員）同來京國都ホテル
▲大島勇氏（撫順市場會社）同
▲竹巴倉吉氏（奉天實業廳總務課長）同
▲野田健吉氏（電々會社）七日午後大連へ
▲宮部光利氏（龍江省公署警務廳長）同四平街へ
▲中村秀三氏（出版業）同ハルビンへ
▲北村克也氏（鹽水製鹽會社）同
▲辰村米吉氏（辰村組）同ハルビンへ
▲笠原行治氏（三井物産）同撫順へ
▲渡邊六藏氏（稅關吏）同來京國都ホテル
▲矢野國臣氏（銀行員）同
▲藤本榮太郎氏（藥種業）同
▲兩宮和良氏（會社員）同
▲中沖壽氏（日滿中央協會）同
▲杉廣三郎氏（鐵路總局次長）同
▲高橋政文氏（會社員）同
▲小森豐隆氏（滿鐵）同
▲碇山久氏（工業）同
▲上田輝三郎氏（北海道帝大教授）同
▲鈴木政義氏（滿鐵）同
▲宮島鎭治氏（滿鐵）同午前來京ヤマトホテル
▲若林茂氏（鑛業）同午後同
▲宮下靜一郎氏（林業）同
▲橋本賢一氏（商業）同
▲吉野淑計氏（吉林高等法院推事）同午前市內へ
▲菅野誠氏（撫順炭坑）同
▲千葉豐治氏（滿鐵）同大連へ
▲鮭木平爾氏（會社員）同ハルビンへ
▲鈴木修次氏（會社員）同午後同
▲林茂壽氏（旅大助教授）同撫順へ
▲大日方一司氏（同教授）同

團體

▲大連昌光硝子會社見學團二十五名 八日午前八時五十分大連より、同九時十分ハルビンへ
▲大每主催經濟視察團十九名 同午後五時三十分大連より
▲金澤市慰問團十一名 同午前六時二十五分ハルビンより、同七時釜山へ

乳房ある悲み（前上海上野）

中西伊之助 作　泉武夫 画

（百十九）彼の爲に立つ（六）

齊はつゞけた。

『申すまでもないことでありますが、たとへばドイツ現行法の如きはこの弊害を救ふために、その犯罪行爲とその他の關係を詳密に列記されてあります。もし我國の刑法典を現在のまゝに放置して置くならば、凡庸なる檢察官に依つて法の精神が誤らるゝことあるを信ずるのであります。本被告事件は實にその好個の適例だと斷ずるに私は決して躊躇しないものであります……』

『仲々猛烈だね、吉松檢事はすつかり凡庸のスタンプを押されたぞ。先生、へんな面をしてゐるぜ……』

新聞記者はまた呟いた。

『本事件につきまして、私の甚だ遺憾に感じました最初の事柄は係檢察官の檢察態度であります。本件は勿論有りふれた刑事被告事件ではありますが、いやしくも四人の被告に對し重刑を課せんとする國家の檢察官として、今少しく被告等へ對して叮嚀親切に、そして國家の刑事政策上に於ける十分の見識を論告の上に披瀝されて然るべきだと信ずるのであります』

齊の論鋒はやゝ峻烈になつて來た。

『學者のいふことは違ふよ、まるで檢事を叱つてゐるんだね』

『やつぱり大學の先生だね』

例によつて、新聞記者は囁いた。齊は更につゞける。

『私は本論に入るに先立つて私が何故に今回本件の被告事件に特別辯護人として出廷したか、その直接の動機について一言申上げたいと思ひます……』

そして彼はいつた。

『私は先々月、見學のために××刑務所を訪問しましたが、その際一中學生が强盜傷害罪として拘留されてゐる事實を知りました。これは國家の刑事政策上、また文敎上、由々しい問題であると信じまして、その被告とも面會し、且本人の身元、生立、犯罪事實を調査致しますに從つて、益々私の考への誤りでなかつたことを明かにするに至つたのであります。私の調査する所に依りますと、四人の共犯者の最も年少者たる白川淺吉は、幼少の頃父母に別れて何人かの手に依つて曲馬團に賣られました不幸な青年であつたのであります……』

齊の聲は漸く熱を帶て來た。

『被告淺吉は幼少の頃から兩親や兄弟の愛を知らず、殘忍な他人の手によつて育てられました。彼の今回の强盜傷害といふ犯罪に或る因果關係をもつてをりまする彼の最初の逃走罪の動機をつぶさに研究いたしますと、彼がその前半生に嘗めました辛かつた經驗から、自分と同一の境遇に苦しむものに深い同情の涙を注いだのが原因となつてをります。それは同人の豫審調書の中の中立を一讀すれば何人にも理解の行くことであらうと信じます。即ち、同人が最初に保護檢束――これは後に詳しく申しますが、××署に同人が留置されたのは行政處分としての保護檢束であつて、決して浮浪罪として拘引されたのではありません。――そしてその檢束をされた後、共犯人の純一の身の上をきかされ純一の多くの弟妹が飢へに泣いてゐるといふことを知つて同情のあまり、純一の乞ひを容れて無謀にも拘留場を破壞して逃走を企てたのであります。この罪の動機はあくまでも無私無慾でありまして弱者に對する至純な同情に原因してをります。裁判所が本件を御審理になりますには、深くこの點に御洞察を煩はしたいと存ずるのでございます……從つて私が進んで本件の辯護人として出廷致しましたのも實にこの點に他ならないのであることを申上げたいのでございます』

京圖線襲撃匪副頭目 天下好逮捕さる
高粱繁茂期に一稼ぎの計畫中 首都警察廳員の殊動

六日午後三時頃首都警察廳司法科孫刑事外二名が二道街方面を警行中、擧動不審の滿人一名を發見取調べの結果、右は山東省生れ住所不定、天下好（三二）＝本名宋世鈞＝で昨年七月廿九日午後六時頃新京發淸津行旅客列車を三江好匪と合流約百名の副頭目として同列車を土們嶺—營城子間に於て襲撃し死者十一、重傷者九、拉致者三十その他金品を强奪した匪團の一味で非業の限りを盡してゐた兇賊と判明した、警察廳では七日天下好の自白により前記現場の山地に隱匿しあつた長銃三挺、拳銃四挺、彈丸二百八十一を押收し引上げた、尚當時の共犯者二名も逮捕したがこれらは本年二月秘かに新京城内に潛入り込み同志を糾合して近く高粱繁茂期に蠢動一稼ぎすべく計畫中のものであつた

强盗二件

降りやまぬ霖雨の中を昨夜八時半から九時半までの小一時間の間に首都警察廳管内では拳銃强盗事件が二件までも强行され附近住民は戰々としてゐる

◇

七日午後八時半頃寛城子東道街寛城子郵政局員郭成勳方に拳銃所持の二人組强盗が侵入家人を脅迫し現金八十圓、指環その外貴重品を强奪逃走した

◇

同日夜九時卅分頃財政部前電々會社住宅建設場附近にある飲食店王忠三方でも同樣二人組ピストル强盗により現金十八圓を掠奪らはれた

靖安軍西島部隊 岫巖縣の匪賊急追

【安東國通】七日午後五時岫巖縣山中に於て靖安軍西島部隊は共産匪鄒匪首の率ゐる匪賊百名を發見、交戰二時間にして敵に多大の損害を與へ潰走せしめ、引續き吉軍部隊と協力追撃中である、我方戰死准士官一、重輕傷五

軍犬支部幹事會

滿洲軍用犬協會新京支部幹事會は七日午後七時から日滿軍人會館にて開催、幹事評議員約十七名出席會議に先立ち源田訓練所長の就任挨拶がありて同氏議長席につき議事を進め一般に軍用犬熱をたかめるため軍犬名譽〃焔の信號〃を上映する件につき岡田幹事より同映畫試寫を見ての感想情報處小秋元氏より映畫の價値につき詳細なる説明があり上映準備員として幹事高山八十八評議員丸山久、小秋元三氏が會場其他の準備につき交渉に當り十日午後七時より日滿軍人會館にて再び幹事會を開き各分擔を協議することゝし午後十時過ぎ散會した

國防婦女會が慰問舞踊團組織
十一日軍人會館で試演會

滿洲國國防婦女會は日本國防婦人會と併行して銃後の固き護りとなつてゐる傍ら最近國軍慰問團を組織し外部に對しては之が基金募集をなし國軍に對しては慰問を行つてゐるが今回軍政部軍事調査部の膽入りで國軍慰問舞踊團を組織し去る六月初旬チチハルにおける實演に鑑み大々的に各方面に派遣することゝなつた、なほ十一日には軍人會館において之が試演會を開催軍政部職員等約四百名に公開することゝなつたがプログラムは次の通りである

（一部）
一、白鳥の湖　景安舞踊研究所 小女クラス部員
二、藤娘　菊地愛子
三、スペイン舞踊　景安正夫
四、祇園小唄　河部靜江
五、金婚式　永田利子
六、青鬼　景安正夫
七、野崎小唄　藤間勘喜久
八、ユーモレスク　屋岡洋子
九、ダンスコミツク　景安正夫 河部靜江 梅南芳

休憩

（二部）
一、玉屋　藤間勘喜久
二、裁かれるユダ　梅南芳
三、ガボツト　堀内千代子
四、思ひ出　河部靜江
五、柳の雨　菊地愛子
六、弓の踊　景安正夫
七、雪やこゝ　古味サキ子
八、風船玉　宇野ハル子
九、滿洲國國民歌踊　全員
番外（時間の都合にて）
祭典　景安正夫 今村徹
ヂプシーの踊　景安正夫
殿旅道中　梅南芳

毎月定期的に映畫と講演會
市教育科で計畫中

市公署教育科では一般民衆の情操陶冶と常識の向上を期し併せて建國精神の徹底をはかる目的で一般學生のため映畫と講演の會を毎月定期的に開催することゝし、目下立案計畫中であるが今のところ毎月三回開催の豫定で日時、場所その他は近く決定されることになつてゐる

便利になる空の交通
營業定期に

關東軍發表＝從來奉天—通化線及哈爾濱—牡丹江線は特殊定期のところ去る七月一日より營業定期に變更せられたが奉天—通化間は毎週月、水、土曜日、哈爾濱—牡丹江間は土、水曜日、牡丹江—哈爾濱間は日、木曜日に飛行するなほ之により座席の申込に對し臨時保留し得るので一般旅客の搭乘も便利となつた、同方面は交通機關の不便なため飛行機申込者殺到するので出來るだけ早目に申込む要があるとのことである

奥さん方大擧して社會施設を見學
十二台のバスを連ねて！

一般婦人の社會施設の認識を深めるため新京婦人團體聯盟では豫てから新京に於ける滿洲國側社會施設機關の見學計畫の準備を進めてゐたが時宜に適した催しとて各方面の婦人間に絶讃を博し參加申込者四百名を突破する程で八日を期し第一回の見學を決行した當日は生憎天候が悪かつたので參加者は申込數には達しなかつたが聯盟委員長武田夫人各委員、其他一般婦人等思ひくのよそほひで續々と地方事務所前に集合其の數約三百餘名、出發に先立ち高山社會主事より一場の挨拶、加藤保員より見學の順序について説明を加へ定刻を過ぎること十五分午前十時十五分交通會社の大型バス十二臺を連ねて出發した（寫眞は地方事務所の一行）

滿洲代表電々軍 十七日新京發
途中門鐵、全大阪と鉾を交ゆ

强敵奉天滿倶を屠りいよく來る八月一日より神宮内苑球場で開催される晴れの都市對抗野球大會に滿洲代表として出場の榮冠をかち得た新京電々チームは引續き電業グラウンドで血みどろの練習を續けた上來る十七日新京出發途中門司、大阪で門鐵、全大阪その他の强豪チームと鉾を交へ神宮の王者めざして帝都へ乘込む事となつた

訪日宣詔記念 都市對抗足球
本社後援　十一、二兩日中銀グラウンドで

大滿洲帝國足球協會、大滿洲帝國體育聯盟主催訪日宣詔記念選拔都市對抗（奉天、新京、哈爾濱、間島、吉林）足球戰は大同報社及び本社後援のもとに來る十一、十二日兩日中央銀行運動場でトーナメント式により開催されるが試合時間は前半三十五分、中休五分、後半三十五分、但し決勝戰は前半四十五分、中休十分、後半四十五分である、なほ規則は暫行滿洲國足球規則（日本蹴球規則準用）にとり十一日午前十時文教部正廳で主將會議を開き抽籤により組合せを決定する、大會次第及び大會委員は左の如くである

▲七月十一日（土曜日）
一、入場式　午後一時
二、優勝旗、優勝盃返還
三、大會委員長挨拶
四、祝辭
五、始球式
六、試合開始　午後一時三十分

▲七月十二日（日曜日）
優勝戰　午後一時

大會委員
會長　丁鑑修
協會長 大會委員長　滿洲帝國足球協會理事長　美濃部洋次
委員
總務委員長　滿洲帝國足球協會理事　金振民
總務委員　同　友納不一雄
同　同　黒田善八
審判委員長　滿洲帝國足球協會理事　王維需
審判委員　滿洲帝國足球協會新京支部主事　千葉幸雄
同　滿洲帝國足球協會新京支部委員　後藤達一
同　同　馬淵芳樹

三井物産中元品好評

三井物産では目下ロンドン製高級煙草（タレーブレ青パッシングショウ）を金泰洋行、寶山洋行、三泰公司の三ケ所に於て特賣中であるが高級贈答品として一般より好評である

總領事館半休

新京總領事館では來る十一日から八月二十日迄の間執務時間を午前八時から正午迄とする旨告示された

中市醫院落成

東三條通り三六番地中市醫院はかねて同地に新築中であつたがこの程竣工十日落成式を行ひ同午後七時から記念公會堂で自祝宴を催す

新京輸入組合事務所上棟式

新京輸入組合では中央通十九に新築中の新事務所工事進捗し昨七日午後四時から盛大な上棟式を擧行した

みしま屋の廉賣

市内日本橋通り吳服の老舗みしまやでは目下中元贈答品の賣出し中であるがほかに銘木綿、仕立浴衣、浴衣地、ジョーゼット、銘名古屋帶等特價品が澤山ある

あす（九日）

▲滿鐵夏期大學開始、米田實博士講座、午後三時半—五時半、敷島高女
▲觀光協會設立相談會、午後一時、市公署會議室
▲甲斐女史個展第二日、公會堂
▲特別市實業懇談會、午後三時、中央飯店

◇…今晩の主なる演藝放送…◇
▲七・〇〇絃樂合奏（東京）モギレフスキー絃樂合奏團
▲七・二〇人形淨瑠璃（大阪）文樂座より中繼竹本伊達太夫外
▲八・〇〇長唄二曲（東京）

公學校暑休

市内各小學校に一足遅れ新京室町公學校の暑中休暇は來る十六日から八月十四日迄の卅日間と決定したが同校では休暇中七月卅日を兒童召集日として午前六時に登校、忠靈塔に參拜後校舍の大掃除をなす外、現地栗落として各學級別に適當な日を選び早起會を催すことゝなつた、同會では午前六時に登校して復習、合同體操、訓話、映畫見物など有意義な行事を行ふ

滿洲調査機關聯合會農業分科會

滿洲調査機關聯合會の農業に關する分科會は八日午前九時半より軍人會館において開催されたが實業部野田農政科長、經調藤原農業班主任、關東軍山口山佐、蒙政部綾野農工科長、民政部都甲拓政司第一科長、其他産調、滿鐵農務課より出席者あり、農産物出廻調査、農村實態調査特に移民適地調査の方法に關し協議をなした

同　仲森政郎
同　劉恒德
同　劉天寵
同　王耆金

新京から旅順まで天然痘患者乗り廻す
發見して列車まで大消毒

恐るべき眞性天然痘患者が驛開札口および列車御免でしかも悠々途中下車までして南下三日目の今日始めて目的地驛で發見され「貴驛より天然痘患者乗車す、至急適宜の處置をとられたし」との電報が新京驛に達した—六日午後八時新京驛發南滿線十六列車に年齡三十才前後（住所氏名不詳）滿人男の天然痘患者が驛開札口を素通りして三等車に乗車したが列車乘務員もそれと氣づかぬ間に同九時公主嶺着とともに一旦同驛に下車した患者は六日午後十時新京驛發（二十二列車）に乘りかへて周水子に到着したがこの間も同樣素通りした譯で八日午前六時五分旅順驛着と同時に開札口で發見されたもので新京驛では八日午前十時電報接受とともに大狼狽し直ちに地方事務所に連絡滿鐵衛生課の手によつて大連より北上、目下新京驛に入構中の問題の十五列車三等車全部に亘り大消毒を施したが、一方患者が公主嶺より乘りかへた北上中の二十二列車は奉天驛で消毒を濟ませた、なほ十五列車は十六列車となり八日午後八時大連に出發する

新京醫師會堂々と創立
會長に塚本院長

關東廳令に基き創立された新京醫師會の總會は七日午後五時から新京記念公會堂に於て開催された、出席者委員を合せて六十九名にて塚本良禎氏より會則を説明滿場一致原案可決、ついで役員▲會長塚本良禎（滿鐵醫院長）▲副會長河野五百里（善生堂醫院）同濱田豐樹（濱田醫院）▲理事吉村寧儀（滿鐵醫院）作野廷（同）羽生秀吉（滿鐵保健所）堀山研作（堀山醫院）河野省二（深町醫院）伊藤津（新都醫院）謝文傑（百川醫院）▲評議員齋藤護邦（滿鐵醫院）中市一雄（中市醫院）市橋貞三（同仁醫院）三井忠公（主堂醫院）鍋谷傳次郎（鍋谷醫院）大森美雄（大森醫院）沖津亘（沖津醫院）饒村佑一（新都醫院）吉田秀雄（吉田醫院）小橋茂樹（順天醫院）これ又滿場一致可決かくて總會は一瀉千里午後五時四十五分閉會した、總會が終了すると午後六時から同所に於て發會式を擧行來賓關東軍石黒軍醫部長、關東局小坂衛生課長、新京衛戍病院梛野院長、豬苗代新京署長、各新聞社代表等着席濱田副會長の開會の辭についで塚本會長より新京醫師會の發會に至るまでの經緯即ち關東局小坂衛生課長新京署豬苗代署長らの斡旋盡力により五月三十一日創立總會を開き六月二十二日認可され茲に關東廳令第一號醫師規則に基く新京醫師會の發會を見るに至つた旨を述べ今後の活用につき會員相互の親睦を圖り醫師本來の使命達成につとめることはもとより善隣滿洲國の醫政をも援助し新興滿洲國の發展に盡力すると抱負を述べて挨拶にかへ來賓關東局警務部長代理小坂衛生課長

茲に新京醫師會の發會を見たことは洵に慶賀に堪へない、今後醫師會は各々技能を磨き醫師本來の使命を達成されたい

と祝辭を述べ新京市民を代表して武田事務所長

我々が待望久しかつた新京醫師會が生れたことは誠に慶賀に堪へない醫は仁術なりといふ言葉の通り市民のカード階級にも温い手をさしのべられて醫師本然の使命を果されんことを期待する

と祝辭を述べ大連醫師會長奉天醫師會長からの祝電を披露一同記念寫眞を撮影して閉會それより八千代館にて發會披露祝賀宴を催し主客歡談盛況裡に十時過ぎ散會した

南嶺救濟院へ百圓寄附

六月十四日中央通路上に於て客馬車と衝突負傷遂に死亡した老松町十一番の二大前末吉氏未亡人聟子さんは其の當時馬車組合並同幹事より金三百圓を見舞金として贈與を受けたところ慈善公共事業に寄附したいとて其の金額を新京警察署に提供したが内百圓を同署より首都警察廳に送つて來たので同廳では管下慈善團體調査の結果として市公署南嶺救濟院事業費として市公署に送達した

天氣と氣溫
明日の天氣　南西の風曇　一時雨
日の出　前四時　四分
日の入　後七時二十三分
月の出　後九時四十二分
月の入　前九時　四分
けふの氣溫　最高　二八度二　最低　一九度七

◇◇人生初年兵◇◇

PCL映畫、佐々木邦原作小說の映畫化、伊馬鵜平と永見隆二が脚色にあたり監督には矢倉茂雄が「舊戀」に次いでメガフォンをとつた、大學を卒業して直ぐ仲良く東都新聞社に勤めることになつた宇留木浩と藤原釜足の兩君が、夫々婦人記者として入社した神田千鶴子、水上玲子さんに切々たる戀情を寄せるが、二人とも見事にふられる、然し未だ二人は若いのだ、人生はこれからだと言ふので、もう一度出直すまでの明朗なお話、キャメラは友成達雄の擔當　助演者は德川夢聲、御橋公、小島洋々、伊藤智子等、豐樂劇場九日封切、寫眞は藤原と水上

"白き王者"
あすからの豐樂劇場

豐樂劇場九日よりの番組は左の如くマキノ、PCL・獨バワリア（PCL配給）封切作品を配した三本立和洋混合編成である

▽マキノトーキー「黑蜻蛉」月形龍之助と新入社の大倉千代子が顏合せする映畫で久保爲義の監督するろオールトーキーである、原作は瀬川春郞により江戸屈指の分限者となつた男か、暗い過去の宿業から平和と光明の世界から再び追はれ、嚴しい捕吏の追跡を逃れつゝ流轉する人間悲劇を描く、助演者は淺野進二郞、光岡龍三郞、光明寺三郞、林誠太郞、廣田昂、杉浦榮枝、大内照子等、キャメラは大森伊八の擔當である

▽獨逸バワリア「白き王者」グスタフ・ディースルの主演する映畫でアントン・クッターの監督作品である、相手役には「黑衣の處女」のヘルタ・ティーレが勤め他にカール・デ・フオタト、ステファン・プレッファ・ベニフュラーが顏を並べる、原作脚色には監督者が擔任しキャメラはオットー・マルティニの擔當である、白雪連る高地を背景に、そこに育つた一山案内人ヤコブが人々の護視と嘲罵を浴びつゝ、只一人自分を愛する乙女の激勵に勇氣づけられて何人も未だに決行し得なかつたトンテ・ヴエリタ四千米の高峰を征服するまでの

ファンク映畫
「新しき土」撮影開始

二月來朝以來、諸般の準備を愼重に重ねてゐたアーノルド・ファンク博士一行は愈よ伊丹萬作の協力によつて脚本を脫稿し、小杉勇、市川春代原節子等の配役も殆んど決定し七月一日を期して伊丹、ファンク共同監督の劇的場面の撮影へ入ることに決定した、この内容は、海外遊學を終うた日本青年が、數年ぶりで日本の土を踏んで後、あらゆる劇的な事件にめぐり合ひ、遂然と日本人としての已れに立返る迄の波瀾に富んだ物語中に日本獨特の美しい風景をことごとく取入れたものである

山の物語りが描かれる▽PCL「人生初年兵」別項參照

雜音

延若宗十郞一座の開演愈よ近づく▲流石に前人氣旺んなものがあるが例によつて舞台の不便と狹少が喞たれる▲栗島すみ子一座は二十二日より三日間長春座開演と決定、此處としては昨年夏の羽左以來の芝居上演である、大ものゝ直ぐ後をうけて聊か不利の感がないでもないが、無

仙人掌

喫茶パレスが小冊子〃PALACE〃を出した、宣傳誌であるが淺彩で映畫評や新レコードの紹介があり、コーヒーを飮んでゐる廿分間お相手をしやうといふ仕組▲ほかに池邊胥李齋伯の女優や佐和山一郞君の詩か載つてゐ、短いコントの募集もやる、サロンにかういつた文化的なパンフレットが續々出るのは嬉しいことである、一寸紹介しておく▲あたしを熱愛する人があつても、モシあたしが八人の子供の面當を見なければならないと告白したら男はどうするでせう、そりやちよつと考へるネ、さうでショ・だからあたしは戀だは愛だはと言ふ事考へないことにしたの、ナァルホド、然しあなたには八人子供が居るんですか、エュ、兄さんや姉さんの子供が八人もゐるのョ▲あたし無理心中をされたことがあるの、嫌やで嫌やで仕方のない男があたしを摑まへて海へ飛び込んだの、大變な經驗をしたもんだネ、えゝ、飛び込んだのョ、ところが水が膝までしかなくて死ねなかつたの1テナ具合でこれはほんの一例ですが萬事話の「下げ」を心得てゐるエロキユーションの鮮々、銀パレスのキミヨ君

台としては甚だ惠まれてゐるから、宣傳さへ徹底すれば好成績を揚げ得やう▲時潮を反映する事象として國策映畫製作熱が旺んである、日活、PCL其他の出張撮影班の滿ソ國境における活躍が頻りに報導される、幾多の危險を冐して收錄された正しい現地報告が如何なる役割をとつてわれくの眼前に展示されるか、大きな期待と興味を呼び起すものがある、映畫の有つ重大な使命が痛感される、滿洲國の國策映畫も逸早くその實行に移るべきである

七曜　木曜　九日　五月廿一日　壬辰　先勝　收　奎宿

●一白の人　人の縁談事に口を出さば口舌を生ず他は平甲と巳と庚が吉
●二黑の人　骨折を骨折とせず耐へ忍ぶ時は漸次利あり甲と巳と申が吉
●三碧の人　心の晴れやらぬ日物事急げば過ちあるべし丁と辛と戌が吉
●四綠の人　徐ろに行動して決して急功を望むべからず丁と庚と戌が吉
●五黃の人　平安なれども注意せざれば散財する事あり甲と巳と亥が吉
●六白の人　元氣壯にして爲す事を遂ぐ結婚開店名弘吉乙と巳と辛が吉
●七赤の人　運氣旺盛なれど勢に乘ずるは好ましからず甲と乙と巳が吉
●八白の人　上邊は吉なれど迷ひの爲に利得は薄らぐ日甲と巳と丙が吉
●九紫の人　剛情我慢は失敗の本なり穩健なるが尤安全丁と亥と壬が吉

謹告

私事堀山醫院在勤中は絕大なる御聲援と御鞭韃を賜り幸に大過なく與へられたる職責を愉快に勤させて戴きました事は一に各位の御同情の賜と深く感謝申上ます
今般双方圓滿合意の上堀山醫院を辭し同時に左記吉野町一丁目堂脇醫院内に於て獨立開業致す事に成ましたから今後共相變ず御指導と御交誼の程伏而御願ひ申上ます
昭和十一年七月三日
吉野町一丁目
堂脇醫院内
產婆 天野チサエ
電話(3)五五一一番

各位

海拉爾地方の羊毛 七萬プード豫想
―前年に比し約二圓の高値―

【ハイラル國通】日本の對豪通商擁護法發動により最近國內の緬羊增產計畫が叫ばれてゐる折柄とてホロンバイルの羊毛は重視されて來たがハイラルに於ける羊毛一プード現在の相場は八圓で前年に比し約二圓の高値を示してゐる、本年度羊毛產出額は約七萬プードと豫想されて居り從來ホロンバイルの羊毛は殆んど外國人の手により米國方面に輸出されてゐたものであるが現在では今春創設された日商東蒙公司の手によつて取扱はれてゐる

滿洲パルプ企業に 統制再檢討論
現在四社分離は統制弱化

人絹パルプ國策樹立については別項の如くいよ／＼具體的審議に上つて來たが、この國策樹立の一手段として滿洲パルプ企業計畫に改めて統制方針の再檢討を行ふべしとする意見が強い、即ち滿洲パルプ企業統制は再三再四轉換した結果、生產力を制限し四社バラ／＼の獨立建設を許容したしかし人絹パルプ國策の立場からみればこれは明かに統制の弱化といふべきであり國策的立場から再檢討を要するといふにある、つまり現在四社に許容してゐる第一年度一萬噸第二年度以降一萬五千噸の制限を撤廢し少くとも年產三萬噸以上を認めること、同時に四社の自由企業を相當程度に政府の管理下におき國策的統制を圖るべきであり、之が最も端的且つ容易な手段を政府の管理下に四社の合同統制を樹立することである、この議論は王子系共榮企業の曾ての主張と偶然にも一致を來したわけであるし、また四社合同の客觀機運は必ずしも否定し得ない實情からみて滿洲パルプ統制は國家統制の原則に還つて再討議の機運に乘つて來たことは注目される問題であらう

人絹パルプ 自給問題審議

ステープル・ファイバー原料人絹パルプの自給問題に對しては商工省においても國策的課題として討議する決意ありその具體的審議の準備として二日商相官邸にかれた官民懇談會では

一、ステープル・ファイバーは使用奬勵策によつては自給は困難でないが、肝腎の人絹パルプが輸入難に陷つた場合どうなるか

二、滿洲パルプ工業を內地人絹パルプ資源として國家的見地から之を管理統制し自給を促進してはどうか

三、羊毛資源として古羊毛を化學的處理によりビケコースとして再生し得る經濟的限度如何

といふ如き根本問題が討議されたと傳へられてゐる、而して商工省としても可及的具體案を作成の上、陸軍、對滿事務局、滿洲國政府、滿鐵と協議の上、人絹パルプ國策の樹立を急ぐこととなるべく問題はいよいよ軌道に乘つて來たと見られてゐる

日本國策に呼應する 滿洲羊毛事業（完）
―輸入種と改良種の成績―

滿洲國政府が輸入した米國產メリノー種羊毛七百頭は王爺廟、朝陽の兩改良場に於て飼育中であるが、大體滿洲の氣候風土、飼料に耐え得ると共に、增殖も九十パーセント乃至百パーセントの實績を示してゐる、即ち昨年六月輸入以來一ケ年の經過を見ると、大體左の如くである（王爺廟改良場業務報告による）

王爺廟改良場

米國產輸入メリノー種四百廿一頭 其中牝四百頭、牡廿一頭

イ、飼育管理

輸入種羊は何れも二才羊のみで發育途上のものである爲め、六月末入場直後に於ては長途の輸送と土地環境になれず、加ふるに七月に入つては「アブ」の侵襲、旱魃による野草の成育不良等惡條件下に置かれ、十月頃には削瘦羊を出すに至つたが、其後榮養の恢復に努めたのと氣候風土に馴れ體力も次第に恢復し十二月の交配期には最初の交配而も嚴寒中に拘らず初期の目的を達し四百頭中三百七十七頭の交配を遂げた、又管理方面より云へば入場以來之を三群に分ち三棟の羊舍に收容し入場第三日目より放牧を開始し飼料も改良場內生草を主とし之に米國より持歸りしルーサン乾草を補給して八月以降は全く同地方產乾草生草のみを以て飼育す、尙は夏季中は暑熱を避けて羊舍內に休養せしめた、其他衞生狀態については炭疽症及び蚯に見舞はれたが防疫、消毒、防注射を施行した結果一頭の斃死をみたのみで他に鼓腸症による斃死三頭を出したが全體的に頗る良好な成績を示す

ロ、蕃殖成績

十二月交配を行つた三百七十七頭は其の後經過良好にして流產、死產等も殆んどなく四月下旬より五月上旬にかけて三百五十頭の分娩を見、其の後仔羊も發育順調で母羊の健康も良好である、尙は朝陽改良場では同樣昨年十二月交配を行ひ四月下旬の分娩結果は王爺廟より寧ろ好成績を納め、札拉大特改良場ではメリノー種牡六頭 同牝百十四頭に丑來優良種牡二十一頭、牝百十九頭を飼育し之が交配に依る第一回雜種百七十頭を得た 四めん羊毛

東滿の新興都市 牡丹江の近情（二）

ハ、油房

六工場あり昭和十年生產高は左の如くで孰れも大部分地場で消費される

豆油 二五七、六〇一斤
豆粕 二六七、二九四枚

油房一覽表

工場名	代表者	資本金	設立年月
恒盛泰	文鳳儀	一九、六〇〇	昭和九年十一月
東和興	曜宗	二〇、〇〇〇	同十年一月
三益隆	陳孝德	二、〇〇〇	同十年九月
萬泉湧	賈成章	五、〇〇〇	同十年八月
德盛泰	韓敬魁	三、〇〇〇	同九年十月
義昌隆	景尊賢	一、〇〇〇	同八年一月

ニ、淸凉飲料水製造

三工場あり昭和十年製造高はサイダー五千箱（一箱四八本）、ラムネ四千箱（一〇三〇本）で市內の需要を充す外哭樹鎭、穆稜、密山勃利、寧安、林口、平陽鎭方面に移出してゐる。

當地には日本內地品（三ツ矢、金鵄、キリン、ミナト其他）、滿洲品（大連ライオン、奉天サクラ及ツボミ、安東アケボノ等）がかなり多量に進出して居り地場品は之等に對抗し本年に入つてからは漸移入品を漸次驅逐しつゝある。

工場名	代表者	資本金	設立年月
富士洋行	齋藤專太	二〇、〇〇〇	昭和十年四月
三光鑛泉所	橋口武夫	不詳	同十年四月
滿大汽水廠	楊醒初	四、〇〇〇	同十一年四月

ホ、日本酒釀造業

三工場あり昭和十年度（十月より翌年三月迄）の仕込高は一千一百石で地元の需要を充す他近接都市の邦人間にも歡迎されてゐる。

卸相場は白牡丹の七五圓が最高で灘盛の三五圓が最も安く他は普通四〇圓乃至四五圓である。

今各商標別小賣相場を示せば左の如くである

白牡丹	二圓〇〇	牡丹白鶴	一圓五〇
凱歌	一・七〇〇	牡丹正宗	一・五〇〇
弓鷹	一・六〇〇	都盛	一・四〇〇
香鶴	一・四〇〇	灘盛	一・三〇〇

工場名	代表者	資本金	商標
辻喜商會酒造場	高月長喜	三〇・〇〇〇	白牡丹、牧丹白鶴、牡丹正宗
川越酒造場	川越傳治	三〇・〇〇	凱歌、香鶴、灘盛
三養吟醸商會	中西政太郎	三〇・〇〇〇	弓鷹、都盛

ヘ、電氣事業

郊外掖河に滿洲電業の發電所があり現在は火力に依り發電してゐるが將來は牡丹江の流水を利用して水力發電を爲す由である。

本年三日末電燈供給戶數一五五二戶、燈數一〇、〇九三で料金は從量燈が一KW時に付三十五錢で定額燈は左表の如くである

電球容量	一燈一箇月ニ付	電球容量	一燈一箇月ニ付
十ワツト	一圓四〇錢	四十ワツト	二圓六〇錢
二十ワツト	一・八〇	六十ワツト	三・二〇
三十ワツト	二・二〇	百ワツト	五・〇〇

ト、其他

叙上の外製材工場として主なるものは牡丹江木材工業株式會社、牡丹江製材合資會社、日滿製材所及丸八製材工場等があり精米所には大矢組精米所、義昌隆、三益隆、恒記精米廠外四工場、石鹸工場として啓明洋蠟廠、硝子廠、硝子瓶製造の三光硝子牡丹江分工場がある

敍上に依り當地の現狀を總括するに僅々二ケ年間に都勢を擴充した新開地なるが故に未だ根強き經濟力を有するに至らず只交通の要衝に位することに依つて人口を急增したるに過ぎず從つて商工業者も浮動性に富み鐵道建設景氣を追つて轉々する者が多い

然し乍ら當地から密山、虎林、或は遠く佳木斯迄の新線が全通して沿線の產業が開發され東北滿の農產物が北鮮に流れ且奧地各都市への各種雜貨が北鮮から圖們、牡丹江を通じて流入配給される場合當地が其の中繼市場として或る程度迄繁榮するであらうことは豫想され殊に惠まれたる工業條件の下に新規製造工業が勃興するに至れば現在計畫されてゐる人口三十萬に達する東滿の哈爾濱實現も萬更可能性無しとは斷ぜられない

最後に今回の出張調査に當り現地に調査機關が皆無で數字的資料を蒐集する能はず加ふるに時偶々先般來の降雨期にて各街路は正しく泥濘膝を沒する惨狀態なりし爲め僅々一日の滯在では充分なる調査も出來ず市街の實地視察に非常な困難を感じたが哈爾濱鐵路局產業處商工係の好意ある資料提供に依り缺くるを補ひ得たことを附記し以て深甚の謝意を表する

土建ニュース

決定工事

▲洮南外六ヶ所百斯篤隔離所及監視所新築工事は六月二十日入札しにが本日に至り示談決定された ●營繕需品局

示談 三萬四千八十圓 澁谷工務所

第一回 [illegible] 澁谷工務所、[illegible] 鈴木組、[illegible] 酒井吉原組、[illegible] 齋藤組、[illegible] 高山組、[illegible] 森田工業、其他棄權

▲奉天賽馬場整備電氣工事 落札 千百十八圓 山上電氣（植村電氣、共榮商會、高橋電氣、大連電業）

▲稅關奉天監視犬育成所追加工事 單獨 三千九百圓 油井工務所

▲國立衞生技術廠冷藏裝置工事 單獨 八千五百圓 原田工務所

▲滿南種馬附屬建物增設電氣工事 單獨 八百五十五圓五十九錢 電業公司

▲牡丹江郵局新設電氣工事（豫超で示談交涉中）

第二回 京津電氣、野口電氣、滿洲電氣土木、大同電氣、豐國電氣

第一回 京津電氣、野口電氣、滿洲電氣土木、大同電氣、豐國電氣 ●電々會社

▲本溪湖電報電話局舍增築並模樣替工事 落札 四千四百三十圓 共進組（鈴木組、辻組、阿川組（京城）、溝上組、吉川組）

▲西安橋及孟家屯橋小學校便所並鐵刺欄新設工事 落札 二百六十九圓 維新公司（東新公司、祥記公司） ●市公署

▲海拉爾〇〇工事 落札 三萬三千五百圓 伊賀原組（吉川組、鹿島組、日本工業、辻組） ●關東軍

▲奉天驛構內五〇一號外三棟貨物倉庫腰鐵板張替工事 落札 千百四十五圓 辻組（長谷川組、後藤組、細川組） ●奉天鐵道事務所

▲第一軍管區構內吸込桝新設其他工事 單獨 二千圓 一部組 ●第一軍管區司令部

▲錦縣滿人局宅十區敷地地均工事 單獨 千二百五十二圓四十四錢 長谷川工務所 ●奉天鐵路局

▲右間工事（D區） 單獨 四千五百六十二圓四錢 戶田組

▲濱洲線滿洲里土務驛管內線路改良其他工事 隨特 三千七百六十圓 志岐土木 ●鐵路總局

▲牡丹江驛改築に伴ふ機關車庫增築工事 決定 十八萬三千圓 大林組

▲濱洲線島々溪工務段管內線路改良其他工事 隨特 五千九百三十七圓八十五錢 吉川組 ●滿鐵地方部

▲奉天鐵西掘放開渠新設工事 落札 一萬八千四百圓 松浦組（長谷川組、坂本組、鈴木組、榊谷組）

▲奉天鐵西南五路三角側溝並モルタル步道築造工事 落札 一萬五百十四圓四十七錢 市瀨工務所（柿崎組、志岐土木、京城阿川、萬井組）

▲奉天第二中學校煖房給排水其他裝置工事 落札 三萬一千八百圓 今井商會（須田商會、河村商會、松澤商會、辻工務所） ●大連鐵道事務所

▲王家得利寺間一二三、二七七粁第一復州川橋梁上線橋臺橋脚補強工事 落札 七千四百五十圓 錢高組（志岐土木、三田組、伊賀原組、井上組）

▲張台子熊岳城間三五一、九二四粁西監棋河大連側上下線橋台補強工事 落札 四千六百九十圓 尙厚温（柿崎組、飛島組）

▲中央試驗所ヴイタミン工場間仕切其他修繕工事 隨特 一千四百五十一圓 坂本組 ●大連工事々務所（橋本組、取本組）

▲山金町三、一、一、一、社宅外三九一戶疊修繕工事 隨特 百五十五圓八十五錢 信森住市

▲甘井子營業所自動車々庫增築工事 落札 七千一百四十圓 草場組（星野組、石井組、池內市川工務所、安藤組） ●大連都市交通會社

▲關東州廳々舍自動車々庫敷地整地工事 予告工事 開札 九日 ●關東州廳

▲滿鐵社員消費組合四平街支部新築工事 開札 十一日 ●滿鐵地方部

▲大連埠頭構內大舍外一棟移轉其他工事 開札 十日 ●大連埠頭保線區

獨逸に於ける液體燃料は種々の方法により製造されてゐる▲第一は低溫乾溜によるもので一年に四百萬トンの褐炭を原料として二十萬トン程度のガソリンを製造してゐる▲第二はルール地方の石炭を原料として年產十二、三萬トンの石油を製造してゐる▲第三はガソリンの合成法たるフイツシヤー式水素轉化法で年產約十二萬トンのガソリン製出を第一期計畫として本年より大規模に工業化する筈▲第四は代用燃料としてのアルコールの製造で馬鈴薯や木材を原料としこれをアルコール化する研究である、而してこれらの副產物としてベンゾールを年二十五萬トン製造してゐるが、獨逸現在の液體燃料產出高は百萬トンの巨額に達し年消費量は百二、三十萬トン、近い將來には自給自足を可能とするに至らうと、以上は獨逸留學から歸つた某教授の話、進みゆく科學獨逸の一面を語つてゐる

商況欄（七月八日前場）

海外經濟電報

倫敦銀塊 一九片八分五
同 先限 一九片一六分二

▲米棉

現物 一二仙六九
七月限 一二仙五九
十月限 一一仙八七
十二月限 一一仙八五
一月限 一一仙八五
三月限 一一仙八六
五月限 一一仙八八

▲印綿

ブローチ 休
オームラ 休
ベンゴール 休

▲市俄古小麥

七月限 一弗〇五仙八分五
九月限 一弗〇五仙四分三
十二月限 一弗〇六仙八分七

▲カルカツタ麻袋

當限 二一留比四分三
先限 一九留比四分一

紐育銀塊 四四仙四分三
米英爲替 四弗九仙八分一
米日爲替 二九仙三八仙
米支爲替 三〇弗二〇仙
スチール 五七弗四分一
アナゴンダ 三三弗八分五
英日爲替 一志二片八分三
英支爲替 一志二片六分七
印日爲替 七七留比八分五

金銀市況

●上海標金 昨引 [illegible] 本寄 [illegible] 步 [illegible]

●大連金鈔票 現物 寄付 [illegible] 引 [illegible] 高 [illegible] 安 [illegible] 出來高 [illegible]

七月十三日限 七月廿七日限 寄付 [illegible] 步 [illegible]

●大連鈔票銀大洋 現物 不申 引 高 安 出來高 [illegible]

爲替相場

▲上海爲替 ▲日本向 第一回 賣 一〇二、六二五 買 一〇三、三七五 第二回 [illegible] 第三回 [illegible]

▲倫敦向 第一回 賣 一志二片三分三 買 [illegible] 第二回 [illegible] 第三回 [illegible]

▲紐育向 第一回 賣 三〇弗一六分一 買 [illegible] 第二回 [illegible] 第三回 [illegible]

▲大連爲替 ▲上海向 一〇二、五五〇 一〇二、五〇〇 一〇二、五二五 一〇二、五五〇 ▲煙台向 一〇二、四〇〇 一〇二、四五〇 出來高 三萬

▲阪神日米爲替 第一回 賣 二九弗一六分五 買 [illegible]

▲阪神日英爲替 第一回 賣 一志二片一六分一 買 [illegible]

各地株式市況

▲東京株式（短期） 東新、鐘新、滿鐵新、日產、大新 寄 [illegible] 引 [illegible]

▲大阪株式（短期） 大新、鐘新、東新、日鐵、日蓄 寄 [illegible] 引 [illegible]

▲大連株式（短期） 五品、豆新、鈔新、東新、滿鐵新、二新、日産、鐘新 寄 [illegible] 引 [illegible]

▲奉天株式（短期）

各地商品市況

取新、東新、大新、日産、五品、豆新、鈔新、滿鐵新、二甲、電乙、同拓、東拓、滿興、滿毛、優先、日窒 寄 [illegible] 引 [illegible]

▲大阪棉糸 七月限、八月限、九月限、十月限、十一月限、十二月限、一月限 寄 [illegible] 引 [illegible]

▲大阪棉花 當限 先限 [illegible]

▲大阪人絹 當限 先限 [illegible]

各地特產市況

●大連大豆 現物 七月限 八月限 九月限 十月限 十一月限 [illegible]

●同豆粕 現物 七月限 八月限 九月限 十月限 十一月限 十二月限 [illegible]

●同豆油 現物 七月限 八月限 九月限 六月限 [illegible]

●同高粱 現物 七月限 八月限 [illegible]

●哈爾濱大豆 現物 七月限 八月限 九月限 十月限 十一月限 [illegible]

●同小麥 七月限 八月限 九月限 出來高 [illegible]

●神戶豆粕 七月限 八月限 九月限 十月限 出來高 二〇車 [illegible]

新京取引所市況（七月八日前場）

現物（一石値段） 寄 出來高
大豆 [illegible] 四車
高粱 二・七〇
小豆 —
玉蜀黍 —
定期（混合百斤値段） 寄 引 出來高
大豆 七月限 [illegible] 一三車
八月限 —
九月限 —
十月限 —
十一月限 [illegible] 九車
高粱 七月限 [illegible] 六車
八月限 [illegible] 六車

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
發行所 新京日日新聞社

北支經濟提携の實踐と不當關稅の撤廢要求

懸案の日支國交調整交涉 近く南京で開始されん

【東京國通】川越駐支大使の南京乘込みにより久しく滿を持して放たなかつた日支國交調整交渉は最近の機會に於て活潑なる展開が期待されるに至つた、日支國交の調整に就ては帝國政府に於ては過日來數次に亘り行はれた外、陸、海三相會議の根本方針に從つて具體的工作を進めることゝなつてゐるが有田外相は支那視察旅行より歸京した桑島東亞局長の進言を容れて北支に於る日支經濟提携の實踐と併行し北支密輸の根本的解決方法として南京政府に對し現行高率關稅制度の徹底的引下げを要求し殊に實質的排日關稅と目すべき人絹、砂糖、海產物等に對する從價二十割の高率關稅の撤廢を要求するに決定した、南京政府に於ては來る十日より開催される二中全會に於て對日外交方針の全面的再檢討を遂げるものと期待されてゐるから川越大使は愈よ本月中旬から南京政府を相手方とし先づ兩國經濟關係の強化促進に關し日支第一回交渉の火蓋を切るものと見られて居る

ダンチッヒ自由市

聯盟との絕緣を宣言す

【ダンチッヒ七日發國通】ダンチッヒ自由市當局は七日に至り爾今國際聯盟との關係を斷絕し、聯盟高級委員レスター氏の存在を無視する旨正式に宣言した

ソ聯の英案反對

海峽會議難關に逢着

【モントルー七日發國通】海峽條約改訂會議は七日午前再開、六日の本會議に於て英國代表の提出した修正案に關し討議を續行したが、ソヴイエト代表リトヴイノフ外務人民委員長が

ソヴイエト政府は黑海、バルチック海、極東方面の何れたるを問はず、速かに自國軍艦をその根據地に派遣する權利を有する事を主張する

と述べ、黑海沿岸國たるソヴイエトを他の國と同列に扱はんとする英國の修正案に敢然强硬なる反對意見を表明したこのため會議は再び大難關に逢着するに至り成行は頗る注目されて居る

王克敏氏入津

經濟委員會主席に就任せん

【天津八日發國通】前北平政務整理委員會代理委員長王克敏氏は七日午前七時上海より來津したが、今明日中に北平に赴き宋哲元氏と會見する筈である、王氏の北上し來れるは冀察經濟委員會主席に就任するものと見られてゐるが本人はこれを否定して居り「四五日滯在の上又上海に歸る」と稱してゐる

〝冀察政權の將來は善導と努力次第〟

喜多少將の華北視察歸任談

【上海八日發國通】喜多少將は約一週間に亘つて華北視察を終へ七日夕刻飛行機で歸任したが語る

天津駐屯軍司令官及び渡參謀本部第二部長を主體とする會合に出席して視察打合せの目的を達成して來た、西南對中央抗爭に對する北支の動向が種々問題となつて居る樣であるが、過般宋哲元氏が發表した第一次の聲明にもある如く西南が抗日を以て今回の事件の題目となして居る以上華北は頗る愼重な態度で此問題に處するであらう、冀察政權に對しては各立場により種々の見方があるが必ずしも悲觀するに當るまい、人的陣容に缺陷があるらしいが之も逐次是正されると思ふ、然し冀察政權及び第廿九軍を全般的にみれば決して滿足すべき狀態に到達しては居ない、要はこれからの善導と努力次第である

〝南京政府は依然たる抗日〟

楊永泰支那記者に說明す

【上海八日發國通】桑島東亞局長の支那視察、川越新駐支大使の着任等の結果近き機會に於て日支國交の調整に關する交渉が企圖される模樣であるが、表面的には兎も角として眞の南京政府の對日方針は依然たる抗日であり誠意なき以上日本側に如何に國交調整の熱意ありと雖も到底何等の成果も期待出來ない譯である先般湖北省主席楊永泰が武漢を中心とする全湖北省新聞界代表を召集してなした時局に關する懇談內容は左の如く濟度すべからざる南京政府の對日態度を餘すところなく說明するものとして此の際特に注目に値する

西南の抗日舉兵は實は抗日ではない、最近の西南派、宋哲元、韓復渠は何れも日本の援助使嗾により中央に反對し支那の統一を破壞せんとするものである

中央の抗日政策は決して變更放棄したのではなく着々準備中でこれが先決として目下

一、反動分子の肅淸
二、奸漢の除去
三、共匪の剿滅

に全力を盡しつゝある

反動分子の肅淸は一舉に斷行するのは困難であるから恰かも數名の子供が親に楯ついた場合先づ長子を訓戒し次で次子、三子に及ぶが如く中央は先づ西南を肅淸し而して更に北支に手をつける計畫である

従つて此際に於ては宋哲元、韓復渠等に關する記事は掲載せず愼重に取扱ふべきである、張學良が中央から離脫せるかの如き謠言が行はれて居るが斯る事實は絕對になく、現に張學良は北支の反動分子驅逐の爲め駐屯して居り中央と全く同一の行動を取りつゝある

新聞界は以上の中央の眞意を體し中央擁護を宣明すると同時に西南討伐を中央に要請されたい

馮、李連名で西南强壓反對を通電

【上海八日發國通】確實なる筋への消息に依れば馮玉祥、李烈鈞兩氏は連名で七月十日より開かれる二中全會に對し

一、中央は西南の要求に對し能ふ限りこれを許容し精誠團結を以て外敵に當れ
一、華北に至急武裝防備を施し日本の侵攻に對し武力抵抗を取行せよ

の二提案を爲した、尙ほ右の外陳果夫、陳立夫兄弟も最近西南武力討伐絕對反對を强調して居り、黨部內に於ても武力彈壓反對の聲は相當昂まりつゝある

基礎的工業から生產的事業へ

―滿鐵計畫部の今後の計畫―

【大連國通】滿鐵は滿洲事變以後滿洲の資源開發產業建設に對し調査立案並に資金の投入等に指導的役割を演じたが滿洲內に於る基礎工業及び國防工業は近く設立に決定した大アルミニーム工業を以て大體一段落を見た、即ち事變後滿鐵が關係した工業は

一、燃料工業（滿洲石油、石炭液化）
二、化學工業（滿洲化學）
三、鹽業（曹達工業）
四、採金事業
五、自動車工業
六、鑛業開發
七、セメント工業
八、大豆工業
九、移民事業（滿拓、鮮滿拓）

等の各部門に亘り何れも立案計畫及び資金供給等の原動力となり、大體に於て滿洲の基礎工業、國防工業の滿足すべき完成をみるに至たので今後は專ら採算的の產業開發に轉換することゝなつた、而して滿洲國に殘された生產的事業の對照としては農業、畜產業林業の三大產業部門を中心として之に附隨する各種加工業即ち羊毛、皮革、大豆の加工高粱を原料とするアルコール生產並にパルプ工業、ケナフその他纖維工業等が殘されてゐるが、松岡總裁もこの點に關して大いに留意し今秋計畫部の大改造を行ひ純產業立案計畫に適合すべき內容を整へ轉換的飛躍を決意して居る、その第一着手としては

一、羊毛の改良增產
二、皮革工業の實行
三、纖維工業就中ステープルファイバーの研究

の三事業に向つて邁進する事となし、既にこれが下調査に着手した

輸出入統制强化の爲大貿易局設置案

商相國策閣議で說明せん

【東京國通】商工省では重要國策閣議に提出すべき貿易國策確立について省議を重ねた結果、最近の國際情勢に對應して輸出の增進を期する爲めには輸出統制の强化を圖ると同時に輸入の統制と共背後に置かれる輸出商品產業の調節にまで之を及ぼし縱橫の連絡を完全ならしめるに若かずとなし七日午後の省議で大綱を決定するに至つた、即ち國際貿易情勢に應じて輸出入稅强化を圖る爲に現行輸出組合法を改正すると共に更に進んで輸入組合法を制定又之と並行して貿易組合法（又は輸出入組合法）を設け輸出入組合と工業組合との調節をなし相互間の摩擦を排除して輸出貿易の進展をはかるといふのが此の主旨で小川商相は商工省貿易局を改めて外局とする大貿易局設置方針を持し十三、四日の閣議で貿易國策を說明すると共に貿易局案につき各省に諮る事となつたが要點左の如し

一、貿易局は之を外局となし長官を置く
一、貿易局にて取扱ふ事務は現在の貿易局が司つて居るものゝ外、外務省の海外事情調査、拓務査證、農林省蠶糸局の輸出關係生糸、茶、水產物、拓務省の商業移民海外投資、遞信省、管船局の外國航路、大藏省の關稅等を之に抱合する
一、貿易局に顧問並に參與制度を設け關係各省係官及び學識經驗者をもつて貿易參謀本部の最高諮問機關たらしむる

代議士南洋視察團出發

【東京國通】衆議院南洋視察議員小山松壽、大口喜六、小西和、西村金三郎、佐保畢雄、今井健彥、木下信、佐藤謙之輔、中井一夫、金井正夫、山口久吉の諸氏及び西澤書記官の一行は八日午前九時十五分東京驛發同日午前十一時橫濱出帆のサイパン丸で出發した、南洋委任統治諸島、ダバオ、マニラ、ホンコン、臺灣を視察、八月中旬歸朝の豫定

愈よ近づく

重要國策閣議

本格的討議は廿一日以後か

【東京國通】重要國策閣議は十三日から十五日迄の三日間に亘つて連日閣議を續行、文部外務、農林、商工內務、拓務及び陸海軍、大藏九相の說明を聽取する事になつて居るが、陸海軍の國防費及び之を賄ふべき財政計畫の說明をこの三日間で終了する事は恐らく困難と見られ、結局來週一杯はこの說明聽取に費されるものと見られてゐる然も各閣僚は各省案に就て一通り全般の說明を聽取後一應これを整理研究するの時日を要求せんとするものもあり、結局本格的討議は廿一日の閣議以後になるものと見られて居る、而してこれが討議に入りその善後策を考究するに當つては調査局の三項案、政民兩黨の進言等を斟酌する事もあるべく總歲出と馬場藏相の增稅增收計畫と睨み合せ最後的決定を見るまでは政局も相當深刻なる場面を展開するであらう

東亞勸業の買收交渉十五日頃調印

【大連國通】朝鮮總督府の鮮滿拓殖會社設立に伴ふ東亞勸業株式會社の資產買收本交渉は順調に進捗し十五日頃までには調印の見込で續いて鮮滿拓殖會社の創立總會が京城に於て開催されるので滿鐵の山崎理事は設立委員として列席の爲め來る二十日大連發京城に赴くことゝなつた

極東地方のソ聯鐵道建設狀況

【ハルビン國通】當地某所消息に依ればソ聯極東地方に於る最近の鐵道建設狀況左の如し

一、ウスリー鐵道の復線工事中ハバロフスク、チタ間完成
一、ハバロフスク、コムソモリスク線は昨年起工され目下竣工を急いで居るが、同線はバム鐵道に連絡し軍事上極めて重要なものである
一、バム線はバイカル湖附近四十四キロ完成
一、バイカル湖東岸に建設中の鐵道工廠は本年度乃至明年初頭には竣工の見込みであるが同工廠はソ聯鐵道技術の全能を傾注して極東鐵道の修理を一手に引受ける大規模のものである

東條司令官海拉爾方面巡閲

東條憲兵隊司令官は十三日午後三時新京發飛行機にてハイラル、滿洲里方面の憲警巡閲に上り十七日午後歸京の豫定である

ロ條約國會議十六日開會

【ブラッセル七日發國通】先週ジュネーヴに於てベルギー首相、イーデン英國外相、ブルーム佛國首相の三巨頭の協議の結果、エチオピア問題の一段落を機として本月中頃ロカルノ條約國會議を開催するに決定を見たが、愈々來る十六日より八日間の會期を以てブラッセルに會議を開催するに確定、パンゼーランド首相は近く關係各國へ招請狀を發する段取りと確聞する

武部總長あす歸任

武部關東局總長は先般來治廢に關し現地案を携行上京、折衝中の所十日午後九時新京着にて歸京する事となつた

外務辭令

【東京國通】八日附で外務省より左の辭令が發表された

外務事務官（條約局）根道廣吉　任領事　命バンクーバー在勤
領事（宜昌）柴崎白尾　命錦州在勤
領事（錦州）後藤錄郎　命ハイラル在勤
副領事（敦化）草野松雄　任大使館二等通譯官　命中華民國在勤
外務省警部（濟南）下田彥太　任外務省警視　命漢口在勤
外務省警部（奉天）今井春一　任外務省警視　命チチハル在勤

尙バンクーバー領事石井康氏はアメリカ局第一課長に就任する事となつて居る

滿洲アルミ原案通り實行

【大連國通】滿洲アルミニューム工業會社設立に關しては滿鐵奧村業務課長が政府に對して滿鐵原案を說明し關稅保障問題に就き折衝した結果、政府より關稅額に相當する獎勵金を補助するに決定、圓滿解決を見たので愈々原案通り實行する事となつた

同會社は資本金二千四百萬圓（二分の一拂込）でアルミ年產四千キロトンを目標とし滿洲國法人として撫順に設立される事になつてゐる出資は滿洲國、滿鐵の外內地同業者が參加する筈で目下松岡總裁が內地業者と折衝中である、內地業者が拒絕した場合は滿鐵の出資を增加する方針で、今月中には正式認可申請をなす段取りである

中銀週報

六月廿八日より七月四日に至る中銀貨幣發行平均額左の如し

項目	金額
貨幣發行額	[illegible]
紙幣	[illegible]
準備	[illegible]
保證	[illegible]
硬幣	[illegible]

人事往來

▲張星五氏（熱河省實業廳長）八日午後熱河へ
▲草場大佐　同奉天へ

社説　ソ聯極東工業の進展　これに對應する滿洲の斯業

一

ソ聯は昨年をもつて第二次五ヶ年計畫の滿三年を經過して、その工業は大なる成長を遂げた。同國にはじめてトラクター工業その他の近代工業が創設され、それがはじめて生産を開始した頃は、勞働者が新式の機械に不馴れであつたため、操縦する機械をやたらに破損したり、生産する製品に多くの瑕物や不合格品があつたりし、それを見たり聞いたりした外國人は、ソ聯の工業化も覺束ないと評したものであつた。しかしこの見解は今や、ソ聯工業、殊に軍需工業の實狀によつて根本から覆され、新しい認識を持つことが要求されてゐると思はれる。昨年後半期から喧しく傳へられた例のスタハノフ運動の如きも、ソ聯國民經濟の新しい達成を示す一つの段階に於いて起つたものとして注目されたものであつた。

二

ソ聯重要工業生産高を見ると、一九二八年には世界に於ける順位第十位であつた電力は、昨年世界第三位となり同じやうに、石炭は第六位から第四位に、石油は第三位から第二位に、銑鐵は第五位から第二位へ、鋼鐵は第五位から第三位へと上昇してゐる。それらは從來輕工業を犠牲としてひたすら重工業の伸張を目指して得られた成績であつた。去年からは消費財の増産テンポをも生産財のそれに接近せしめるやう變化して來てゐる。今年の計畫は、昨年に比し生産財二二・六%、消費財二三・七%増加を豫定し、これが達成のためには勞働能率を平均二〇%たかめ、平均勞働賃銀を一〇・二%引上げることとなつてゐるのである。

三

これらの間に、極東に於いて工業地帶が確立され、そこに軍需資料の獨立性が創造されたことは、日本と滿洲國の立場から最も注目を要する事象であらう。それには、北鐵の讓渡を最後の打切りとして極東に於ける軍備の强化と諸建設の進歩に伴つて著しく積極的となり、著しく硬化してゐるソ聯側の對日滿態度が展望されるのである。ソ聯當局が、黑龍江支流ブレーヤ河沿岸に無限に包藏さるゝ鐵と石炭の産出により「ブレーヤ・ストロイ」なる一大綜合企業地帶の建設が計畫し、またバイカル湖附近に一大發電所を中心に綜合企業地帶「アンガロ・ストロイ」を計畫してゐることをわれらは注視すべきである。これに對して滿洲に於ける重工業の建設がいま積極的に考慮されつゝあるのは當然の必要によるものであらう。それには鐵、石炭の開發、アルミニューム工業等の新しい展開が、現下の非常時的緊張感の中に强く待望される。

スタンドレー卿の修正案採用さる
モントルー會議愈々大詰

【モントルー六日發國通】海峽條約改訂會議は六日午前モントルーに於て再開、イタリー代表は依然出席せず

劈頭 英國代表スタンドレー卿はトルコ政府の條約に對し各國代表合作に係る修正案を提出、討議の基礎として採用するよう要請した、英國の修正案は全文廿四ヶ條より成り主要項目左の如し

一、平時に於る各國軍艦の海峽通航行許容總噸數は一萬五千噸とす、又黑海に海岸線を保有せざる各國軍艦の黑海に碇泊し得る總噸數は三萬噸とし、更に特別の場合には四萬八千噸迄増加することを許容する

一、トルコ政府は戰爭の脅威に當面した場合は國際聯盟理事會が三分の二の多數を以て承認した場合に限り海峽を閉鎖し得る

一、新條約はイタリー政府の批准をも含む、前調印國政府の批准により直ちに効力を發生する

一、條約期限は原案に五ヶ年とあるを十五ヶ年とす、更に五ヶ年毎に條約を修正出來る

一、新條約調印國政府は特別議定書の形式を以て即時トルコ政府の海峽再武裝を許容する

以上スタンドレー卿の提案に對しソ聯代表は相當難色を示したが、トルコ代表間には既にジュネーヴに於て諒解成立してゐた爲各國代表も異議なく結局修正案を

討議 の基礎として採用するに決定、次回會議に於て討議を續行することゝなつた

國策氾濫に備へ　連日臨時閣議
十三日から始める

【東京國通】政府は七日の閣議に於て國策氾濫に備へ來る十三日からは連日臨時閣議を開き重要國策の審議を進める事に申合せた

七日の國策閣議

【東京國通】第二回重要國策閣議は七日午前十時廿分より開會、林法相は司法省所管の重要國策を提示

一、判檢事の充實
一、司法官待遇の改善
一、人事刷新の爲めにする整理
一、法規の整備

の四項目に就き詳細なる説明をなした、之に對し潮内相より司法官の待遇改善に關し質問あり、林法相之に答へ、義務教育年限延長問題は次回に讓り午後零時十分散會した

輸入超過國に　比島割當制實行か

【東京國通】在マニラ内山總領事より七日外務省着の報告に依れば今回比島政府は同國に對する輸入超過國よりの輸入品に對し割當制を敷く決定權を大統領に附與する法案を六日議會に提出した、右法案は國内産業保護と獨立後の財政强化の爲めと見られるが右法案通過の曉には當然本邦品も割當制を受けるわけで目下右法案が議會通過の可能性があるので我當局では之が推移を頗る注視して居る

罌粟栽培取締の爲　省公署に臨時職員設置
九日附勅令公布さる

（滿洲國政府發表）省公署に臨時職員を増置するの件は九日勅令を以て公布されるが、右は罌粟栽培の取締は一般警察事務に比し稍趣を異にし一般警察官憲の之に關する訓練も不充分なるを例としたが特に其の事務の繁雜なる熱河省に在つては從前より在る禁煙善後管理局（熱河臨時禁煙指導局と改稱）をして其の事務を處理せしめて居た、然るに同局は官制に依りて設置せられたものに非ず從て其の職員の身分も確定せずこれが爲事務の處理に際し種々不便を伴ふ場合尠からざるが故之を廢止し其の職員は之を省公署の臨時職員とし其の從前の事務を處理せしめ且つ禁煙警察に關し一般警察官憲の指導に當らしめんとするもので尚三江省では一般警察官憲をして罌粟栽培の取締に任ぜしめて居り其の事務の處理に當り前述の如き理由で前記職員の一部を削き同省に所屬せしめんとするに至つた

省公署に臨時職員を増置するの件

第一條　禁煙事務に從事せしむる爲省公署を通じて臨時左の職員を増置す

事務官　一人　薦任
警正　一人　薦任
屬官　五人　委任
警佐　四人　委任

第二條　前條に掲ぐる職員の各省公署の定員は民政部大臣之を定む

附則

本令は公布の日より之を施行す

丁香廬漫筆（百廿六）
◎素足の化粧（下）

小林一三氏のやふに日本人は人種的に歐米人に劣つてるなどとは思はぬがさりとて優れてるとも考へられぬ、目今（過去も將來も別物だ）見た目では聊か劣つてるのは爭はれぬ。失禮ながら御婦人の比較を一寸やつて見やふか、黄色人種の我等の間で『白』が美の一の標準となつてるのは少々怪しからぬと思ふけれど事實そうなのだから甚だ分が惡い『色の白きは七難匿す』と云ふが此點我婦人は西洋婦人に既にスタートに於て二三等を輸する。次は『目鼻立ち』と申すが此れも軍配は此方に揚げ兼ねる。『キモノ』と云ふ排日三文小説を書いて日本人を小ぴどく罵倒したジョンパリスは日本婦人の鼻を評して『ノー、ブリッヂ』（無橋）とやつたが此れは確かに急處の一擊で大にこたえる、無橋嬢や無橋夫人はざらに居り、此にお附合をしてる無橋居士も亦甚だ多い。

×

西洋と異つて我國でプロフィルの寫眞の流行らぬ主なる原因も此にある、それで「鼻筋が通る」が美人の一資格になる位だが西洋婦人にして色の白からざるものなしと來ると鼻筋の通らざるものもなく鼻筋の通らざるを得ぬ、尤も此れは御婦人に限らず殿方の内でも鼻眼鏡を掛けて押合ふ辞業の中に敢然に飛込む丈けの自信のあるものが果して幾人あるかと云ふ段になると恐らく御婦人方ばかりを笑つて居れまい。目は心靈の窓と云はるゝが日本人男女の中には心靈の存在を疑はるゝやふな人も相當多く居る、勞々以て色白と目鼻立の競爭では一寸勝味が無い。此外體格背恰好腰脚皆負けじや、それで綺麗な衣物に包まつてチヤンと座り眞白に塗り立てた顔丈け出して居れば先づ無難と申すことになる、西洋人が衣物を讃めたからとて自惚れてはいかぬ、實は一種の侮辱に近い。

×

そんなら日本婦人は全然絶望かと云ふにさにあらず、オリンピックも水泳丈は天下無敵である、同じ意味で日本婦人の足こそは天下の至寶と推稱するも過言でない。日本婦人の體格は西洋風の裸體畫のモデルとしては不適當かも知れぬ、然し歌麿や廣重は日本婦人の手や足を剋明に寫生して立派な藝術品を殘して居る、西洋裸體畫の持つ魅力をあの美しい足一つで輕くあしらつてるとしたなら日本畫だからとてそう馬鹿にはならぬ、而してあの浮世繪の足が畫丈けで無く日本到處の都部に現在してるのだから頗しい、日本婦人よ、そう固くなつて坐らぬでも宜敷い。

×

そして日本婦人がその足の美を最も遺憾なく發揮するときはやはり夏の湯上りに浴衣掛けで日本座敷の疊の上や縁側の上に現はるゝ時であるゴージアスな西洋應接間のペルシヤ絨氈の上でもなくソファーの上の上等なクツションの間でも無い、大威張で見度いなら日本に來いと言ふべきである。

×

西洋婦人の足は九十九パーセント迄か全部がホリブルである、支那婦人の纏足の初期見たやふなものだ靴とは離るべからざるものになつてる。子供から出直す外あるまい、然し遲蒔ながら日本婦人につて來るといふのは聊か痛快である、日本婦人各位よ、各位は今彼等をリードしつゝあるのだ、間違つても足の爪紅だけはさすな。

貿易開拓に　南阿實業家來朝

【東京國通】對オーストラリア關稅戰に伴つて日本の有望な新市場として登場した南アフリカ聯邦では目下商務官アンドリユー・ブレナン氏を東京に駐在させて日本と南阿の貿易振興策に努力してゐるが南阿からトランスバール、アモサイト及アスベスト會社並にギフター・コランダム會社事務取締役セシル・ギフター氏が此程來朝、我實業界と提携し新販路開拓の大收穫を土産に七日横濱出航のビーヴアンス號でアメリカ經由歸國した出發に際し氏は日南阿親善に就き左の如く語つた

日本に初めて來ましたが實に素晴しい國です、國民は親切だし民情は發かし景色は美くしい、でも對日貿易の現狀は一對七の割合ですら日本は何故高いアメリカから輸入して安い南阿から輸入しないのでせう、然し私は日本に來て初めて日本が南阿にとつて最も重要な市場であることを發見しました、トランスバール州には日本人は居りませんが私は學校で英人の先生から柔道を習ひ日本の精神は體得してゐます、どうか日本と南阿の貿易親善を實現したいものです

日滿アルミの増産　朝鮮窒素と提携か
七千噸擴張は遂行の決意

【東京國通】國内自給自足を目標としアルミニューム製造各社の増産計畫增加しつゝある折柄日滿アルミニューム會社では此程第二次擴張計畫具體化に着手すべく最近朝鮮窒素との提携交渉進行中であるなるべく特許の分讓は回避する方針をとり礬土頁岩よりの希望に應じなかつた位であるから右提携交渉の成行は逆睹し難いが、何れにしても七千噸擴張の計畫はあくまで之を遂行の決意を固めてゐるので成行注目されてゐる

林務署官制公布

滿洲國は國有林事業特別會計制度の創設に伴ひ本年度より官行伐事業の實施、林野官民有區分の調査及國有林野管理事務の徹底等國有林の合理的經營を行ふ爲國有林管理機關を充實し又從來の森林事務署は既往の實績に鑑み其の名稱不適當なるを以て森林事務署官制を廢止し林務署官制を制定九日勅令を以て公布さる

林務署官制

第一條　林務署は實業部大臣の管理に屬し其の管轄區域内に於ける國有林野の管理及事業の實行に關する事務を掌る

林務署は前項の事務に支障なき限り一般の需要に應じ公私有林野經營の指導を爲すことを得

第二條　林務署の位置、名稱及管轄區域は實業部大臣之を定む

二以上の林務署に渉り實行することを要する事項に關しては實業部大臣管轄林務署を指定す

實業部大臣は必要に應じ各林務署の管轄區域内に林務署の分署を置き其の事務を分掌せしむることを得

第三條　林務署を通じて左の職員を置く

署長　二十四人　薦任若は委任（但し薦任は十二人を超ゆることを得ず）
技佐　三人　薦任
屬官　六十人　委任
技士　百五十二人　委任

第四條　署長は實業部大臣の指揮監督を承け署務を綜理し所屬職員を指揮監督す

第五條　技佐は上司の命を承け技術を掌る

第六條　屬官は上司の指揮を承け事務に從事す

第七條　技士は上司の指揮を承け技術に從事す

附則

本令は公布の日より之を施行す

本令施行の際現に左表上欄に揭ぐる官に在る者別に辭令を發せられざるときは各其の相當下欄に掲ぐる官に同官等俸給を以て任ぜられたるものとす

森林事務所長　林務署長
森林事務所屬官　林務署屬官
森林事務所技士　林務署技士

實業部は部令を以て林務署の名稱位置及管轄區域を左の通定めた（括弧内は署の位置）

名稱　位置

▲朝陽鎭林務署（海龍縣朝陽鎭）▲安東林務署（安東縣安東）▲通化林務署（通化縣通化）▲撫松林務署（撫松縣撫松）▲安圖林務署（安圖縣安圖）▲琿春林務署（琿春縣琿春）▲延吉林務署（延吉縣延吉）▲敦化林務署（敦化縣敦化）▲樺甸林務署（樺甸縣樺甸）▲吉林林務署（吉林縣吉林市）▲五常林務署（五常縣五常）▲哈爾濱林務署（哈爾濱特別市）▲牡丹江林務署（寧安縣牡丹江）▲穆稜林務署（穆稜縣穆稜）▲勃利林務署（勃利縣勃利）▲依蘭林務署（依蘭縣依蘭）▲方正林務署（方正縣方正）▲湯原林務署（湯原縣湯原）▲通河林務署（通河縣通河）▲綏化林務署（綏化縣綏化）▲海倫林務署（海倫縣海倫）▲北安鎭林務署（龍鎭縣北安鎭）▲嫩江林務署（嫩江縣嫩江）▲黑河林務署（愛琿縣黑河）

附則

實業部分科規程は九日一部改正され林務司に林政科、監理科、計畫科、經營科、經理科の五科及淨月潭造林場が置かれたが右林務司分科規程改正に伴ひ左の人事の決定があつた

任實業部理事官　實業部事務官　寺園經吉
林務司經理科長を命ず
任實業部理事官　實業部事務官　毛利富一
林務司監理科長を命ず
實業部技正　青山敬之助
林務司經營科長兼計畫科長を命ず

第三回日米學生會議開催

【東京國通】日本英語學生協會では一昨年アメリカの學生團を東京に迎へ日米學生會議を開き昨夏は日本學生團が渡米して更に親交を暖め今回は第三回日米學生會議を八月一日から早稻田大學内で開く事となつた、アメリカ學生團は七月二十九日横濱入港の龍田丸及び三十日入港の平安丸で來朝する、日本學生團でも之が準備と歡迎に忙しいがアメリカ學生が日本に寄せて居る期待も大きく一昨夏來朝した學生中には歸國してから熱心に日本語を研究して上手な手紙迄書ける樣になつた者もある程で其の收穫は年々大きくなつて行くので今回の大會も非常に期待されて居る

國境河川の通信に　傳書鳩を利用

通信機關の不備なる國境河川は一朝有事の場合、全く孤立無援の狀態に陥るので哈爾濱水上警務段では、沿岸の水路愛護村民の愛路思想の普及徹底による情報網の充實並に通絡及鳩便による救援連絡を企圖し諸般の準備を進めてゐるがいよいよ哈爾濱警務段に二百二十羽、佳木斯に二百二十羽を配置して、十日より訓練を開始し、十五日ごろよりそれぞれ各船舶に配備して松花江はもとより、ウスリー江、黑龍江方面の國境地區に活動することになつた、なほ三姓その他の地方は來る八月中旬ごろ配置の豫定で、これによつて匪賊の電線切斷その他有事の際における河川の通信網は完備の第一歩についた譯である

商況欄（七月八日後場）

株式相場

▲大連株式（短期）

銘柄	寄	引
五品新	[illegible]	[illegible]
豆鈔新	[illegible]	[illegible]
鐘紡新	[illegible]	[illegible]
東鐵新	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]
二 [illegible]	[illegible]	[illegible]
日 [illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘 [illegible]	[illegible]	[illegible]
奉天	[illegible]	[illegible]

▲株式（短期）

銘柄	寄	引
滿取	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
日産	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
五品	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
二新	[illegible]	[illegible]
電甲	[illegible]	[illegible]
同乙	[illegible]	[illegible]
東拓	[illegible]	[illegible]
東亞	[illegible]	[illegible]
滿興	[illegible]	[illegible]
滿毛	[illegible]	[illegible]
優先	[illegible]	[illegible]
日昝	[illegible]	[illegible]

各地商品市況

▲横濱生糸　前引　寄　後

現物	—	
當限	[illegible]	
先限	—	[illegible]

▲大連麻袋

現物	三十三錢
五日限	

手形交換高（七日）

金票	[illegible]
鈔票	—
國幣	[illegible]

鮮魚小賣相場（八日）

品名	最高	最低
[illegible]	[illegible]	[illegible]

黄◇金◇境◇踏◇破◇記（二）

金廠はぼろ儲け　苦力連にはタコ部室

友松・特派員・記

記者が翠達氣に到着したのは午後四時頃であつた、翠達氣は興安金廠の一部で今こゝに採金會社の泥河採金船建設事務所が建設されてゐる、もともと興安金廠は張學良一派が民國十二年に創立し黑龍江の省有としてその一派の人に貸付けてゐたのであるが、大同二年末で此の

年限

が切れたので完全に會社の經營鑛區になつた譯である、嫩江の左岸に當り日本の里數にして横が六七十里、縱が百廿里に餘る廣大な地域で現在一日に三百五十ゾロの金が採れるわけても翠達氣支廠ではその約六分の一の六〇ゾロが採れるので極めて有望であり現在苦力が二百人程入込んでゐる今こゝに苦力が採つた金がどんな經路で採金會社の手に入るか略述して見やう金を目指して奧地へ這入る苦力は先づ金鑛區の親方である把頭のところへ草鞋をぬぐ、把頭は土地の顏役で苦力は把頭から盃を貰つてその乾分になり、採金夫證の下附を受け把頭から食物や着物を貰つて採金を始めるのである、把頭は苦力を食つて行くだけの資力と力量がなければつとまらない、苦力達が採つた金はそつくりその儘把頭に收められ

把頭

はそれを金廠に持つて行つて錢に替へいくらかぴんをはねてその日の採れ高によつて苦力達に一人當り五十錢から二圓位までを支給する、その支給された給金によつて苦力は把頭から衣類を買ひ又飯代を拂ふのだからまして奧地の様な物價の高いところでは苦力が一日平均一圓の仕事をしても追つくものではない、その把頭は運賃をかけて五圓もしない白麵を十圓位に賣つて儲けてゐるのだから助らないのは苦力連中だ、金が多量に採れゝば急に物價を高くし採金量が少くなると物價を安くすると云つた具合で何時迄經つても金は貯らない、逃げやうとしても逃げられないのだ、勿論事業の性質上採金夫に對しては鋭い把頭の監視の眼が光つてゐる、作業をする場合には其當日把頭はその部下の採金夫證を金廠に提出して採取證と引替へ作業を終つた時には採金夫證に引替へると云ふ

仕組

になつてゐる、まるで北海道あたりのタコ部屋にはいつたのと同じでもうこゝには入れば拔足出來ないことになるのである中にはこの苦痛から逃れる爲ひそかに盜み貯めた砂金を肌身につけて夜陰に乘じて脫走する苦力もあるが、途中には鋭い目が光つて居り脫走と同時に手配もされるので人の通る道は歩けず、興安嶺のヤブや林を掻き分けて行くのであらうが、名物の狼の毒牙にかゝりその中餓にも襲はれると云ふ具合で滿足に都會に出ることは出來ず結局泣きの涙で藥にもならぬ金を掘らねばならぬことになる、苦力から涙の金をよせ集めた把頭はこれを金廠に收めるのであるが、上には上があるもので金廠はまた把頭を支配してゐる金廠は各把頭に鑛區を分割して受持たせるのである、食糧や衣類の總元締は金廠であるから金廠から把頭の手に渡る時にはそこに又大きな加減がしてある、結局苦力は二重三重の搾取をされてゐる譯だ、翠達氣支廠では把頭は月給制度で月百圓內外の給與を受けその支配下の

苦力

に給與する糧食其他の雜貨器具等は金廠から把頭を責任者として之に貸與し、一定の日限內に集金して金廠に納入せしめ、又食物其他日用品の販賣權及び賭博營業權を許可してゐる、何れの場合でも金廠は之等の物品の賣却に依つて相當の利益を得る事には變りない、現在北滿の各金廠は把頭から一ゾロに就て五圓八十錢位で買上げ採金會社は之を十圓六十錢で買上げてゐる、大變な差額だ、然し彼等金廠と雖も之迄にするには並大抵の努力ではない、彼等の就得權も認めてやらなければならない所に採金會社としての苦痛もある

ハルビン鐵路局の夏季遊覽施設

松花江岸に綜合避暑所開設

【ハルビン國通】哈鐵社員會では日、滿、露一萬餘人の從業員並に家族の爲夏季遊樂施設のプラン設計中のところ愈々來る十二日より九月まで松花江對岸ミニアチユール附近に綜合避暑所を開設、全社員を始め一般市民にも廣く開放する事となつた

吉鐵管內　水害復舊狀況

【吉林支局】吉鐵管內水害復舊工事は晝夜兼行で續けられて居るが本月五日午後六時現在に於ける復舊狀況は左の通りである

一、拉濱線杜家、山河屯間一三五キロ拉林河橋梁附近現場は目下約三十五％程度の工事進捗を見て居り順調に行けば本月十五日頃開通する見込である

二、同平安、水曲柳間一五六五粁の築堤流失箇所は其の後異常な工事進捗を見て、八分通り復舊し十日頃には完了する豫定である

三、右區間一五七粁呼蘭河附近の現場は非常な難工事場所で材料の運搬其他意の如くならざるため、些か遲滯の觀はあるが本月末、二十七日頃迄には復舊の豫定

四、水曲柳、四家房間一七一粁附近の築堤流失箇所は六分通り進捗し、十二日前後には完了する

五、右箇所一七二粁の地點、第三溪浪河現場は目下難工事を續けて居るが約四十％程度の復舊を見て居る、十七日前後には完全に開通する見込である

何れにしても大降雨其他特別大なる支障無き限り、本月二十日前後には、呼蘭河に於て、旅客車の徒步連絡をなし得る見込である

六、虎林線平陽、東海間一〇五粁の第二穆稜河現場附近の流失箇所は目下八分通り復舊、十一日頃には完全に開通する豫定である

東京にも山小屋　上野驛屋上に此の度び白樺造りの山小屋を作り都人に山嶽氣分を味はせる事となつた

大豆ますく品薄　小麥は尙約十六萬瓲

六月末に於る北滿在貨數量

最近の大豆相場は最近稍實需不添ひで訂正氣味の反落を示してゐるが前途は極度の品不足から依然無いもの高を豫想されてゐるが六月末日現在における各沿線の大豆、並びに小麥の在貨數量は北滿經調々査によれば大體次表の通りである（單位＝瓲）

線別	大豆	小麥
哈管區	一九・七六八	六七・五九九
江筋	四・二一八	一九・一三三
濱北線	一・二〇〇	一九・六〇〇
京濱線	七〇〇	一・三二〇
拉濱線	一三〇	一一〇
濱綏線	六九	一・五一一
圖佳線	一四〇	二・二一六
濱洲線	一・二三四	六・七四八
齊北線	一・四九九	八・三三三
合計	九・八〇八	[illegible]

すなはち大豆在貨は遂に三萬瓲を割りしかも哈管內が全體の六六％を占めており他は全部で僅かに一萬瓲となつており大豆品薄のますく激化せることを明示してゐるなほ小麥は依然として約十六萬瓲近くで品モタレ狀態を續けてゐる點注目されてゐる

五緯路に負けず　新開門夜店

【吉林支局】夏の夜の景物夜店が五緯路に計畫されて市民の興味をそゝつてゐる折柄新開門外各商店に於ても過渡期の不況を緩和し、併せて中心的商店街の位置を維持するため、同様に夜の街頭に進出することゝなり、目下森泰號辻川佐助氏、松尾呉服店江木末八氏、丸德堀川武雄氏、大久保洋行主、林洋行主等發起人となつて着々協議を進めてゐる、而して本計畫には新開門外の全商店に參加を求めるほか一般にも希望者を募集して適當なる助成方策を講じ、賑かな夜店街を形成して夕涼みに散策する市民に呼びかける筈である、尙ほ五緯路の夜店は五日夕から賑やかに店開きする筈であつたが諸準備の都合上、二日延期となり七日夕から始められた

圖們驛乘降客數

【圖們國通】六月中圖們站の各線別乘降旅客員數左の如し

線別	乘車	降車
北鮮線	五・四七一	四・四八七
京圖線	四・六一八	四・九九五
圖佳線	四・七六四	三・九七一
計	一三・八六一	一三・二五三

六月分製造煙草　賣渡高

【京城支局】總督府專賣局六月分製造煙草賣渡總額は三百九十三萬四千五百六十一圓で之を前年同期に比較すると一割九分九厘の增である、各支局別に示せば、京城百五十四萬六千二百五十三圓、全州八十六萬九千六百八十四圓大邱七十二萬六千六百十八圓平壤七十九萬二千六圓である

吉林情緒豊かな　陶器工藝開發

商議所始め各機關乘出す

【吉林支局】商工會議所に於てはこのほど關係方面の參集を求めて陶器座談會を開催、最近試驗的製造にとりかゝつた有田燒の助成開發を決議したが、近く陶業及び陶磁器の權威として知られてゐる某氏が省立工藝講習所長として來任する事に內定してゐるので同氏の來任を俟て具體化する筈である、而して最近試作された陶器は置物花瓶、煙草盆酒壺、茶飮、フルーツ皿等數十種に上り、何れも本場の有田燒に劣らぬ見事な出來榮えを見せてゐるが、材料の粘土は吉林近郊に於て無盡藏に採取されるので更に型、色彩等に一段の工夫を凝らして滿洲情緒を加味した上、各機關協力の下に觀光都市吉林の工藝品として廣く內外に賣り出す筈である

間島居留民會　事務引繼完了

【圖們國通】圖們內地人居留民會では五日午前十一時廿分から領事分館に於て祖父江延吉縣長代理、中島居留民會長を中心に間島省より池田行政科長古屋總領事館圖們分館主任等立會の下に滿洲國へ所管事務引繼を完了した

天候に惠まれて　亞麻耕作良好

收穫豫想四千萬斤

五月中旬より六月上旬迄に播種を終つた北滿亞麻耕作は前年の耕作面積八千五百天地に對し本年度は一萬四千百天地と著しく增大したことは既報の如くであるが、現在までの作柄頗る良好にして本年度の收穫約四千萬斤以上と豫想されてゐる、卽ち前年度の八千五百天地實收約千五百萬斤平均一天地當約千八百斤に對し本年度は一天地當平均二千八百斤を越すものと豫想されたが原因は（一）五月末及六月上旬の天候及雨量は發芽に好適であつたこと（二）各地農家も耕作法に熟練し熱心になつたこと等にして、今後大なる異變なき限り豫想通りの收穫を得られるものとされてをり價格も既に亞麻會社との間に協定されたが前年同樣次の如くである

一等品　一斤　一錢一二
二等品　一斤　一錢五厘—一錢七厘
三等品　一斤　一錢—一錢二厘

前年度の農家收入平均一天地約七十圓にして他の農作物に比し多收の狀況にあり本年度は為百萬圓以上に達するもので はないかと豫想されてゐる

双城縣下の夜盜虫　發生地域擴大

呼蘭縣にも續いて發生す

【ハルビン】双城縣下委託採種圃を中心に害虫發生し實業廳員出張調査の結果右害虫は夜盜虫で七月一日頃より發生しその範圍は殆ど全縣の廣大面積に亘つてゐるが發生早々にて被害僅少なる故速かに撲滅すべく縣當局農民協力して目下驅除工作中にして農作物の被害には大した影響なきものと見られてゐる、更に呼蘭縣下にも發生の情報あり最近の天候は害虫發生に好條件にして發生範圍擴大の虞れあるため實業廳では管內各縣の調査をなす一方その防遏策を考究中である

熱河地方色を　陶器で紹介

熱河省凌源縣三十家子雙膝村では從來から簡單な陶器類を製造し販賣してゐるが、今回業者達は錦承線の全通を機會にこれを擴張し株式會社となすべく計畫を進めてゐる、奉天鐵路局でも斡旋の勞をとることゝなり係員を派して下調査を行はしめてゐるが、會社組織の曉は先づ風景入の瀬戶茶瓶等を熱河の名物として賣り出し旅客に對して大いに熱河のローカルカラーを紹介しようといふ意氣込みである、秘境熱河として人口に膾炙される割合に名物に乏しいだけに設置の曉には相當好評を博すであらうと期待されてゐる

家庭

怖ろしい傳染病 チブスの素人診斷
＝恢復期が一番大切です＝ その豫防法に就て
（夏）

平熱になつたら一週間も經てば盛に食べたくてしやうがなくなります。この時食べ過ぎると再發の憂き目にあることがあります、徐々と薄紙を重ねる様に食事して行くことが大切です。そして平熱になつてから二十一日も立つと大抵のものはたべてよいことになります。

さうなると食事の時に坐らしてみたり、ベッドのぐるりを歩かせたり、入浴をさせます そして尿や便の中に黴菌が交つてゐやしないかといふことを嚴重に調べます。この檢査が粗略で黴菌排泄者を退院させるとまた流行の仲介者となりますから當人も醫者も餘程注意せねばなりません、三回以上便並に尿の試驗を行つて連續菌を認めなかつた場合に於てはじめてよろしいといふことになります。これは中等程度ですが

重病に なると一週間乃至二週間内に心臟衰弱によつて倒れてしまひます。極輕い人になると、一週間か二週間で解熱してなほつてしまひます。恢復期も輕くすんで平氣にすましてゐます。もつと輕いのは醫者の所に來ないで賣藥位でなほつてしまひます。それでも黴菌が體内にゐることは變りませんからその人から他に感染させるならば恐るべきことです。も一層輕いのに病症狀を自覺しないで自分も人も健康だとゆるしておいて黴菌をやたらに散らしてる人であります。この流行を撲滅するまでは魚でも肉でも

煮て食 べさへすれば大丈夫です。擧國一致其黴菌を全滅させた上生物をおいしいものを安心してお互に食べたいものです。それから最後に子供がチブスにかゝつた場合大變輕く濟むものです。單に風引きとか腸が惡いとかいふ位熱も高いこともありますが低いこともありまして不規則に經過する爲に醫師の診斷も容易でありません、そして子供の保菌者がなかく多いのですから子供を持つ親はよほど注意していただきたいと存じます大人では肥つた人、酒をたくさんのんだ人はチブスになると大層脆く心臟が弱ります。全體でいふと患者は壯年者の働き盛りが一番多いのです、この恐るべきチブス菌が日本に影を見せなくなれば赤痢もコレラも共になくなつてしまひます、それはみな

黴菌が あるのに生の食物から うつるものであるからです、健康な都市にすることは誰の力によりませうかむろん家庭の主婦の努力にあるのです。その責任も大いものであると存じます。

お料理獻立

枝豆料理

その一 枝まめを青くゆでゝサヤからはじき出し、辛子を水で固く練つて布巾に包み、熱湯に三十分位入れておいてから取り出し、擂鉢に入れ醤油砂糖、味の素で味を調べて先つきの枝豆を和へます、これは極く少量を小さな器に入れてすゝめます。

その二 枝豆を生のまゝサヤからとり出し、胡麻油でカラリとあげ、新聞紙の上にあげ鹽をふりかけます。これも前と同様にしてすゝめます。たゞゆでたよりは喜ばれます。

その三 枝豆を茹でゝはじき出し、擂鉢に入れすりつぶします、これは砂糖大さじ半杯、食鹽少々、酢大匙三杯を入れてのばします。別に芝エビ二十五匹を各三つに切り先つきの儘で和へ合せます。これにもみ海苔でもかけますと目にもキレイです。

劣等感を持つと 子供はヒネクレる！
無暗に叱らないで 長所を認めなさい

嘘をつかないやう、正直に――さう子供に教へますが、小學校へ入學する前の數へ年五、六歳の子供が度々嘘を云ふのは、子を持つ誰でもが知つてゐる事です。

子共の嘘は成人の嘘と同じ性質のものかどうか、又

子供の 嘘を甚だしく憎んでいゝものかどうか――を考へて、叱つてはならぬ嘘があることを兩親は知つてゐなければならぬと思ふのです。（一）五、六歳位の子供は非常に想像力が旺んで、現實と想像とをゴッチャにします。このことは幼兒の遊戯やまゝごとを見ても、現實と想像がハッキリ區別されてゐないのが判る筈です。（二）子供は數多くの言葉を知りません、適切に言ひ現す言葉を持つてゐません、「ます」「ました」「ません」「ませう」の境が曖です、「部屋を片付けましたか？」と聞くと「片付けました」と答へた處で實際は片付けてなどないのです。此の二つの嘘は學校へ上る前の兒童が必ず持つ

特色で あるのです、十三、四歳の子供の嘘に就いても、教育的に見逃すことの出來ない大切な點があります。それは人間は誰でも他人よりも優れたいと云ふ氣持がありますが、其氣持がつかせる嘘です。學課で劣つた子供は、運動場や戸外で鬼大將となつて他の子供を支配します。戸外や運動場で腕力その他の事情で優れる事を許されぬ者は家でそれを求めます。親や兄弟がいぢめて家でも我儘や優越を許されぬ者はそのいぢめられた劣等感の埋め合せをするために嘘で優越感を抱くのです。ですからどこかで子供の優越の

本能を 滿足させてやればいゝのです。十三、四歳は大人とも子供ともつかぬ青春期であり、身體、腕力等がぐんく發達する時代で物事に反抗する氣持と物事が思ひ通り行かぬので消極的にヒネクレル二つの

特徴が あります。ですから何かでその子を認めてやらないと、素直に子供が成長しません。不良少年などは大部分かうしたことが原因となつて生れるものです。

婦人扇子は装身具の一つ
選び方と使ひ方

▼……夏の御婦人の扇子は、たゞ涼風を呼ぶためといふよりはむしろ装身具の一つとしてお選びになるべきではないでせうか、ですからお求めになるにしてもお使ひになるにしても、一寸工夫をしていたゞきたいと思ひます。

▼……最近の扇子は絹張いのモダンな型のが全盛になつてしまつたやうですが、以前からある紙張りの小型なのも却々すてがたい味のあるものです。特に日本髪の方とか、洋髪でも中年すぎた方は是非紙製の方をお使ひ下さい、色も極彩色やなく、藤色とか水色などのうすくて品のいゝものでないといけません。

▼……若い方、モダン好みの方はやはり絹ばかりの柄の長いのがいゝでせう、色も場合によつては濃い原色の方がお似合ひになることが多いやうです。

▼……お使ひになる時は決してパタパタ大きくせはしくお使ひにならぬこと、見た目にも却つて暑くるしさうですから、一寸使ふ手を止めるときには、扇を全部閉ぢてしまはずに、少し、三分開きぐらゐにして手をあてがつたまゝ膝へでも輕くのせておきます。

けふの番組
（M・T・C・Y 新京放送局）九日（木曜日）

―朝―

六・〇〇 建國體操
六・二〇 ラヂオ體操（東京）
六・四〇 中等滿洲語講座（大連） 講師 秩父固太郎
七・〇〇 中等日本語講座（奉天） 講師 近藤喜助
七・二〇 氣象通報（大連） 引續き 朝の音樂（大連） ピアノ及管絃樂の爲の狂詩曲 ラフマニノフ作曲 ピアノ ラフマニノフ
八・三〇 經濟市況（東京） 管絃樂 フイラデルフイア交響管絃樂團 指揮 レオポルド ストコフスキー
九・〇〇 早晨演奏
九・二〇 料理獻立
九・四〇 經濟市況（大連）
一〇・〇〇 家庭講座 水游の話 電業倶樂部水游部長 寺島富一郎
一〇・二五 家庭メモ
一〇・三五 經濟市況（大連）
一〇・四〇 經濟市況（東京）
一〇・五九 時報（東京）
一一・四〇 ニュース（東京・引續き新京）

―晝―

〇・〇一 經濟市況（大連・引續き新京）
〇・二〇 晝の演藝（レコード）
〇・四〇 建國體操
一・〇〇 白天演藝 清唱 玉堂春 青衣 王瑞一 前 胡琴 李芝香 二胡 張換五 鼓板 楊松亭
一・二〇 ニュース（滿語）
一・三〇 成人講座 人口問題（三）（滿語）
一・五〇 下午演奏
二・〇〇 經濟市況（大連） 引續き 日用品値段（滿語）
二・五〇 經濟市況（東京）
三・〇〇 ニュース（東京・引續き新京）
三・三〇 經濟市況（大連）
四・三〇 ニュース・演藝（鮮語）
四・五〇 ニュース（英語）
五・〇〇 子供の時間 小サナ音樂會 ヴアイオリン 中川五郎 ピアノ 長島繁 アッコーディオン 首藤照書 一、序曲挨拶 二、フランツマール作曲 小學唱歌集の中より 三、三色スミレ アランマクプス作曲 四、ダニューブ河の漣 イヴアノヴイッチ作曲
五・二〇 コドモの新聞（東京） 村岡花子
五・二五 氣象通報・番組豫告

―夜―

六・〇〇 ニュース（東京）
六・二〇 今晩の番組・官廳公示
七・二五 政府公報（滿語）
六・三〇 國民の時間（奉天） 關於保甲制度 瀋陽警察廳保安科長 王達善
七・〇〇 レヴュー ―大阪桃谷演奏所より中繼中― モンテクリスト伯爵 中西武夫作 山内匡二作曲 寶塚少女歌劇月組生徒 同 聲樂專科生徒 同 オーケストラ 指揮 山内匡二 演出 中西武夫
七・四〇 俗曲（大阪） 替唄集 食滿南北作詞 一、夕暮 二、おけさ米若くづし 三、博多節 四、萩桔梗 五、大津繪 唄 八重次 三味線 市三 同 おうめ 外囃子連中
七・五五 俗曲（東京） 一、檜さび 二、下にいろ 三、舟の船頭衆 四、鍋 唄 寅ゆき 三味線 りき 外囃子連中
八・〇五 落語 三遊亭金馬（東京）
八・三〇 時報・ニュース（東京） 引續き ニュース
八・四五 ニュース・經濟市況・氣象通報・番組豫告（滿語）
九・〇〇 舊劇 協和國劇社票友 翠屏觀畫
一〇・〇〇 北滿の時間（哈爾濱）

新京中學校北滿旅行
第三日……（三年）岡 英夫・記

軍都のチチハル政治の中心地であるチチハルは、又一方經濟上北滿に誇る大チチハルなのだ、この北滿に誇る都市のチチハルを我々を乘せた汽車はだんく遠ざかつて行くこれから北安まで又六時間も汽車に乘るのかと思ふとすこしいやになる。

まもなく先生は宿屋から貰つた菓子を一つづゝ皆にお配りになつた、皆おいしそうに食べてゐるがもう食べてこれだけかといふ様な顔をしてゐるものもゐる。

車中は今日はすこしひつそりしてゐる、皆眠むたい顔をしてゐる、しかし驛につくとめのうをひろひに又採集好きの人達は下車をしてプラットホームや草原の中を走り廻つてゐる。

◇……◇

寧年に汽車がつくと遺骨だと叫び聲が聞える、皆窓から顔を出した、多くの戰友に送られて遺骨が向ふの汽車に乘つた、車中はひつそりとなる我々滿洲に住む人々の爲に自己を犠牲にして匪賊と戰ひ戰死をなされたのでせう、皆感激の目を以て之を見送つた。

まもなく汽車は出發して土の眞黒い限りない大平原を走るこの大平原もずつと耕されてゐる、これも滿洲の百姓の汗と力との集りであらう。

汽車はまもなく泰安についた、右の窓から十字架の墓が見えた、又こゝは我軍と蘇炳文との激戰地で我が川崎騎兵隊は一名を殘して全部戰死をした所である。

しかし今は牛馬が放れて草を食べてゐて何んとなくのんびりする。

郭家に來ると「郭家から北安までは寫眞寫生禁止地帶だから寫眞をうつさない樣に又スケッチもしない樣に」と先生から注意があつた、又人の話に依ると北安から黒河までの北黒線は殊に嚴重で孫吾から黒河までは要塞地帶で、又濱州線のハイラルを越えると晝でもカーテンをしめて外の景色を見せないといふことだ こゝで僕等は滿鮮國境の警戒の嚴重なことゝの外に兩國の非常に切迫なることを皆一様に思つた、もうだんく空も黒くなり夕方に近くなる。

やがて七時二十五分我等の汽車は北安の驛にすべり込んだ。

宿屋まで今日は徒歩で行つた、途中はるか彼方に眞赤な太陽が沈む「眞赤だ綺麗だなア」といふ聲があつちこつちに起る、宿の前で吉田先生から注意があつた。

今日は始めて全部が一室で夕食をすませた、入浴後協和會の人から北安附近の有益な話しがあつたがどうかするとこくりこくりといきそうになる、もう十時すぎて皆んな眠むたいのだ、此の話がすんで皆んな寢床に入つたがまだ騒いでゐる者もゐる、電氣が消された、もう遅い「早く寐ろよ明日がねむたいぞ」と云はれる先生の聲がする、だんく聲もしなくなり何時の間にか眠り込んでしまつた。

シボレー新低床式シャシー

シボレーの低床式新バス・シヤシーは一五七吋及一三一吋兩型共大衆車として眞先きに鐵道省令の六一〇粍に適合するものとして認定された事は既報の通りであるが、同シヤシーの持徴のうち注目すべきは路面間隙である。シボレーパス・シヤシーではフレーム側材及横材はダブル・ドロップ構造により規定通り低下して車の安定を十分に増大してゐるが、此の爲めに路面間隙は少しも犠牲にされてゐない即ち低床になつても路面間隙は從來の標準トラック・シヤシーと少しも變らないのである。この點は特に我邦の道路條件に適する樣愼重に設計されてゐてどんな山間部でも雪の多い地方でも、又は悪路の多い所でも些かの心配がないのである、此の難しい設計を見事成就した事はシボレー新低床式シャシーの一大成功とされてゐる。

出生

▲本籍岐阜縣市内曙町四丁目十二ノ四奥村敏雄氏二女花子さん六月二十八日出生
▲本籍鹿島縣市内錦町三丁目第四錦ビル七九號南光芳氏息女昌子さん六月二十一日出生

轉居

▲滿鐵社員金子文藏氏羽衣町益濟寮四十號から特別市清和街三〇二號ノ三へ
▲滿鐵社員黒沼齊氏敷島寮五十九號から千早寮二一九へ

居住

▲採金會社員江畑正二氏茨城縣水戸市から曙町三ノ二十源川榮二方へ

學藝

書評

『前滿洲の開發と日本』(稻葉浩吉博士・述)

山口愼一

「現滿洲國の創成及び發達について、われら日本人の關心は、從前嘗て見られないほどではあるが、よく考へて見ると、われら現代日本人の示しつゝある熱意には、幾層かの裏付けられてゐるものがあり、それは歷史的因緣とも言ふべきであらう。單に國防とか、東亞大局の和平とかいつた、現代國民生活に緊切なるもののみではなく、われらの日本は、古代から大なる作用を滿洲人の建國の上に顯現しつゝあつたのであるが、それは、われらの意識せざるものであつた」

さう說き出されてゐるこの言葉が、ただちにこの本の性格を物語つてゐる。つづいて「抑々わが長白山即ち滿洲國境上に聳立連亙するところの名山の東西は、古來民族の勃興する地方であり、而もこれら民族の、長白山に對する信仰は、かなりに古く又深いものであつた」といふ「長白山信仰」が語られ「淸朝の祖先は立派な系圖の持主であつた」こと、太祖は「往時よりして既に感生說が伴はれてゐたのである。感生說といふことは、人間の子ではない、神の申子であるとの說話が、彼れ太祖の身邊にまつはつてゐた。これらは、その家系、その門地が、かなりの舊家であり、又貴族的であつたことを證明するに外ならないであらう」ことが語られてゐる。

「わたくしは、數百年の久しき、沈滯委微の狀態であつたところの女眞民族が、遙かに淸の太祖の如き英雄を出したことは、直接間接にも、我が秀吉の七年戰役に交涉を有つものであることを信じ、且つ强調するのである」「この戰役の直接結果したものは、支那本部の大動搖であつて、流石の明國の大伽藍もぐらつき始め來たことはいふまでもなく、それが次々に動搖を、政治經濟の上に及ぼし、餘波は延いて遼東方面に及び、兵備は殆ど弛廢して了つた。遼東駐在の官吏の俸給などは、不渡りがちになつたから、綱紀紊亂し、女眞との貿易上の不法行爲などは、續出し、痛く諸民族を憤らしめた」とあるあたり最も注目に値ひするであらう。

滿蒙に對する現代の國民的關心をもつて、日淸、日露以來のことであると考へてをるものが多半であるけれども、それは餘りにも、われらの祖先の歷史を忘却したものである。歷史の表面に現はれないもの即ちわが國民の意識せざるところの作用が、綿々として働きつゞけ來つたことに注意しなければならぬ、けだし滿鮮一帶の民族はわれら日本とは凡そ同一系の血緣であつて言語にも、風俗にも、將た文化的內容にも、相共通するものがあり、さういふ內容的のものが、所謂意識せざるところの作用の根底をなすものではあるまいか。これが著書の幾多の物語の中に主張してゐる獨自な立場である。讀み來つて讀者はこゝに繰りひげられてゐる諸民族の興亡史に深い感慨を持たされる。なほ附錄に滿洲國の治安と匪賊の由來とがある。社會史的に滿洲に於ける匪賊について考察した四十頁に亘る記述である。

『增訂滿洲發達史』の著者による、本書はわれらの住むこの新しい國の、古い歷史を大衆向きに、しかも朝鮮と日本內地との深い結びつけをもつて語つてゐるところに、他に類例を見ぬ簡潔要を得た鎖夏讀物として推薦出來ると思ふ。ちなみに、本書は京城の熊平商行の社長熊平源藏氏が事業經營三十年の記念として三萬部を刊行、ひろく各方面に頒布せるもの。こうした仕事に文化史的な意義の深いのを認めて悅ばしく思ふ次第である

空虛なるポエジー

矢原禮三郎

● 嘘

「その嘘ほんとうか」なんて
言ひなさんな
言葉の大外刈
逆を御用心

● 海

余り涼しいので
私の戀の記憶がさめた
さあどうしよう
記憶の中から戀が生れるか

無題

帆の破れかゝつた灰色の帆船が袋をでる猫のやうに、船脚を早め港をぬけでた。私は暗い夕食を終り、この重苦しい空氣の中でこの帆船は何處に行くものだらうと、色々考へめぐらした、しかし、私はこのさびれた港町に住んで久しいことを思ひだし、ひよつとすると、この帆船は海の自由を滑りながら新しい國へ旅立つのではないかと思つた。

うたゝね

宇野紫文子

空がやうやく燃終ると、軈て南國の夜が黑猫の隱密のやうにしのびやかにやつてくる。
王樣蜻蛉の眼球の窓から月光のプリズムを透して合歡の花がエトランジエーの唄聲にマヒしてゐる
深くしづんだ濃靑の邊りにパ、イヤの葉脈は流れ、濡れた葉影に悲戀のうたを抱ひたもの狂はしい白蛾の亂舞…
沙漠はほのぼのと匂ひ
ギタルラの哀調が消えかゝる頃
とぎすまされた玻璃のやうな闇の底から
いづこともなく惡魔の爆笑が
蒼白い羽ばたきを乘せて
傷ましいニグロの瞳をすひつくしてしまふのだ。

九三六、六

信心銘 (四十四)

盬谷壽石

文曰
「紛然失心」

(印：紛然失心)

△時報、通商彙報、經濟雜錄等(大連市敷島町八二、大連商工會議所、五十錢)

△新天地(七月號) 時潮批判に「滿鐵改組問題の再燃」外三篇 村越信夫「滿洲機械農業可能論」は漸時的可能を論證した力篇 平井庄壹「治外法權撤廢と滿洲國司法制度」は機關と法規の整備を述べたもの、山口 夫「外蒙共和國を語る」は同國の進步を結論、松崎柔甫氏稿「漢碑に引用せられたる詩經字句の對政」上 多くの小篇中、大谷宏「漂泊のワーリヤ!」ある、創作の靑木實「孫の不幸」はこの作家の滿人をテーマにした第二作、宮原欣「純系第三世」もやはり特異さを持つ(大連市楠町三、新天地社、三十錢)

△陸上競技(七月號) 卷頭に鈴木良德「東京オリムピツクと滿洲」があり四年後に備へ好く準備せよと說いてゐる 田中忠男「オリムピツク最終豫選の印象」川崎秀二「オリムツク戰線の異狀」「陸聯昭和十一年度第一次臨時總會」北澤淸「陸上代表陣檢討」「オリムピツク競技に關する一般規則」等(東京市芝區二本榎西町三一成社、五十錢)

△水甕(二十三卷七號) 源俊賴の伊勢參向について(宇佐美善之八)國家大觀二十一代集歌數の誤について(風卷景次郎)歌壇詠風の推移への雜考(日比修平)素月集について(甲斐水棹)素月集小感の(金澤種美)水かげについて(花輪たね子)、尾上先生を語る(重松むら子)、石井先生の思ひ出(野村完六)、歌集解題餘談鈔、四〇(熊谷武至)、「靑樹」合評(草二、正一、源一郞、美樹子、牧歌)、昭和十一年度版年刊歌集について(古川眞澄)萬葉集評釋について(丹草二)、その他歌壇月報等二〇七頁

亡き母を花見の山に伴ひしこともなかりきわが老いむとす　牧曉村

山かひのゆふべ星降る停車場にわかれてつひに逢ふ日なかりき　下御領義盛

△ヂヤーナル(六月號) 池田林儀「朝鮮の躍進と新興工業」神谷碧康「新官僚陣營を曝く」小生夢坊「杉野喜精氏訪問記」牟田久治「言葉の隨筆」合評、朝鮮滿洲の經濟、人物雜觀、滿洲特輯版の欄には十社についての概觀がある(東京市京橋區七ノ五、新聞合同通信社、二十五錢)

△新京商工會議所調査彙報(第四十一號) 三月中の新京財界概況、會議所錄事、日用品小賣物價表他の統計を載す(新京吉野町三ノ七、新京商工會議所、二十錢)

△大連商工月報(七月號) 表紙に滿獨貿易近況の圖表を載せ、資料に「治法一部撤廢附屬地行政權移讓に關する日滿條約成立」「滿獨通商協定の實施に就て」「滿洲水產界の現勢及將來」「蘭領印度の產業」を輯錄

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し(係)

官場現形記 (97)

李寶嘉 作
大內隆雄 譯

―第九回 觀察公銀を討て臉を翻へし布政使缺を署して傷心す その二―

さて陶子堯は姉の夫の返電に接してそれを開いて見たそれには

「機械購入の事は上司の許可がない、先方と然るべく交涉して二萬兩の返還を求め、全額は王觀察に渡せとある。陶は全部を讀まずして、兩の手は氷のやうに冷えきつてゐた眼は釣り上つて掛けたまゝだまりこくつてゐた。暫らくして言つたのだつた。

「こいつはおれにとつて殺人的文書が來た樣なものだ!」

それは陶子堯が蘭芬の家で新嫂々と一緒に食事をしてゐた時であつた。ボーイが電報を持つて來た。それは電報局で繙譯が出來てゐた。陶子堯はそれを見終り、さうした樣子をしたのだつた。みんなはきつと何か大事な要件を言つて來たのだと思つた。新嫂々だけが落ち付いて食事をしてゐた。お碗いつぱいの飯を喰べてしまつてからゆつくりと尋ねた。

「なあんて言つて來たの?」

陶ははつきり言ふわけにも行かず

「早く歸つて來いと言ふんだよ」

と言つた。新嫂々はそれで心中理解するところあり、追究はしなかつた。

陶はそこで尋ねた。

「魏翩仭は何處に住んでるのかね?」

「あの人、しよつ中やつて來るんだけどお家は何處なのかあたし知らないわ。」

陶子堯は

「おれも宴席で知り合ひになつたので、實際先生の家に行つたことは無いんだ」

ボーイが口を入れて言つた

「上海にはさういふ宿無しの商人が實際多いんですよ。で餞が先生たちの手には入つた以上、それを取り戾さうつてのは仲々大へんですよ!且那はまたどうして知りもしないあゝいふ人にお賴みになつたのです!」

陶は

「馬鹿野郞、忘八蛋!お前達の知つたことか!」と罵つたのでボーイも默した

新嫂々が慌てて調子を變へて言つた。

「魏さんは間違ひなんかやる人ぢやありませんよ。あの人に賴んだらよくやつてくれますよ。機械の事は外國人がやつてゐるんだから仕方が無いんですよ。」

陶子堯は返事をしなかつた上衣を着、立ち上つて出掛けやうとした。新嫂々が尋ねた

「何處へ行くんです?」

「宿屋へだよ。」

新嫂々は彼を留めても無益なことを知つてゐた、勝手に行くに任せてゐた。

陶子堯が宿屋に歸つて程無く、まつさきに魏翩仭が尋ねて來た。そして

「五科が例の話を西洋人に話したんだがね、西洋人はどうしても承知しないんだ、そして契約を結んだ以上取消すなんて事は出來ないと言ふんだよ、それで既に拂つた一萬一千をみんな罰金として出すと言つても肯かない、ぜひとも品物を受取れと言ふのだよ君はこういふ事情を詳細に撫台に報告して、難を免かれるやうにした方がいゝよ。將來もめて來て訴訟となつたら、結局君は山東の巡撫から派遣されて來てるんだからね。」

陶子堯は聽いてゐて何と答へたらいゝか、答へる言葉も思ひ付かずにゐる所に

「長春棧二十一號の山東候補道王大人から使が來て持つて來ました、すぐ返事をと言ふことです」

と言つて、ボーイが手紙を持つて這入つて來た。(つゞく)

實際、この頃のやうに暑い時は誰でも冷い水や氷水、アイスクリーム、ビール、サイダー等と何でも冷いものが欲しくなるものでありますが、過度に冷いものは胃の入口である噴門と、出口である幽門の筋肉を刺戟して閉鎖させますから、食べたものが胃中に滯り勝ちになります。そのうへ胃粘膜に凍傷を起させたり、腸の蠕動を亢進させますから胃カタルや下痢の症狀を起しやすいのは當然で、暑いからと言つて、胃腸の能力も考へず無闇に過冷の飲食物を攝るのは、自ら病害を招くやうなものと言はねばなりません。大體、夏は胃腸の緊張が弛緩して、消化吸收機能が極度に衰退してゐる時でありますから、健康な人でも無理が利かず、兎角、胃腸障害を起しやすいものです。まして、平素から餘り胃腸の丈夫でない人や、慢性の大腸カタル等がある人では、食慾不振から榮養が衰へ、夏やせしますから一寸した無理や不攝生もすぐこたへ、急性の胃腸カタルを起して一層痼疾を惡化させるものです。

それですから、夏の胃腸非常時には常に治療藥アイフを服用して慢性的な胃腸病の治療に努めるとゝもに、暴飲暴食不消化物、腐敗した食物、過冷の飲食物、寢冷ゑ等、急性胃腸カタルの原因となるやうな不攝生を愼まねばなりません。又、假令急性胃腸カタルに冒されても、慌てることなく治療し得るやうアイフを常備し、以て赤痢、チブス等の惡疫を未然に防ぐのが夏の衞生常識でなくてはなりません。

尤も、治療藥アイフには病原、對症二重の作用があり、主藥が胃腸內壁の潰面に沈着して炎症を癒し、粘膜を强め、弛緩を引き締め、分泌及蠕動異常を整へる等敏活なる病原治療を營み、併せて胃痛、腹痛、下痢、嘔吐、食慾不振等諸症狀を消退して全機能の健全なる活動を助成しますから慢性症は素より夏の急性胃腸病にも賞用される譯であります

藥價

胃さ腸の兩病にはアイフ(粉末)
四日分 七十五錢 | 十七日分 三圓
八日分 一圓五十錢 | 特價十一日分 五圓

胃病專門には健胃アイフ(錠劑)
七十五錠入 五十錢 | 百六十錠入 一圓

►全國到る處の有名藥店にあり◄

大阪市東區淸水谷西之町
發賣本舖 **順和商會**
振替大阪三四五五番 電話(東)五〇〇〇・五〇〇二・五〇〇三番

東京 東京市本鄕區眞砂町九番地
振替東京六二八八番 電話(小石川)四〇一〇番

大連 大連市山縣通一丁目
振替大連三七六五番 電話七〇〇八番

昂る軍犬熱鼓吹に
"軍犬映畫の夕"開催
一戸一犬主義に活躍の協會
本月末本社後援で

滿洲に於ける軍用犬の活用は單に軍事上のみならず治安工作にも將兵につぐ戰士として益々重用されるに到り最近は財政部、鐵路局あたりの需用がうんと增へて滿洲だけでは到底需用を充すことが出來ず已むなく內地から移入してゐる現狀に鑑み滿洲軍用犬協會では一戸一犬を目標に大馬力をかけてゐるが新京支部は過般西公園に於て滿洲未曾有の大規模の軍犬共進會を催し國都人士間に漸く軍犬熱が昂つて來たのでこれを機會に一層拍車をかけるため月末頃本社の後援で記念公會堂に於て"軍犬映畫の夕"を催すことゝなつた、上映映畫は血湧き肉躍る軍事映畫と人間も及ばぬ軍犬の活躍を織り込んだ名畫數篇でプログラムは左の如くである

（一）陸海軍推薦國策映畫"海底探訪"一卷（二）極東の嵐（七卷）（三）軍用犬實演—基本訓練、襲擊（四）犬の名探偵（二卷）（五）世界一の名犬フラッシュ出演"焔の信號"（七卷）其他數篇である（寫眞はグラフ號の跳躍）

洪水を見るのではないかと極度に憂慮し始めたので、哈市水災豫防委員會では萬一を慮り砂袋五千袋を急造すると共に、哈鐵國道局を始め、市內各機關を網羅した水災豫防委員會を新設すべく、關係方面と打合せを開始した

目下のところ特に水害の危險にあるのは對岸松浦方面で、水害堤防より一米も高く警察署長以下保甲團員出動、極力防水に努めて居るが、何等根本的施設なきため、今後興安嶺及長白山方面に豪雨あれば結局同地のみは水害を免れないとみられて居る、船舶の航行は目下のところ順調に行はれて居るが、今後水位一三二米にも達すれば三棵樹鐵橋は大型汽船の航行を許さないので、旅客のみはライターで連絡運搬し航行に支障なき樣準備を進めて居る

松花江增水！
哈市洪水の危險迫る

【ハルビン國通】北滿地方最近の豪雨で、松花江は八日に至り遂に水位一三二、六九米に達し尚增水の傾向にあるのでハルビン市民は昭和九年度の水災の記憶も新たに再び大

一同實包射擊を實施犬の如く良好な成績を收めた
△原島教諭（三十二點）
△五年　坂本省吾（四十一點）、林茂太郎（同）、三浦浩一（三十九點）、武井重明（同）、能谷善知（三十七點）、花田哲夫（三十五點）、富岡義之（三十四點）、方建鎬（同）、三野義一（三十三點）、久德鐵彌（同）、鐵本虎義（同）、奧津仁也（同）、松井芳資（三十二點）、嘉村康照（三十一點）、鹽原志郎（三十點）
△四年長尾德雄（三十六點）、諸貫（同）、富田良作（三十五點）久保正也（同）、秋山碩夫（同）、松田千代彥（三十二點）、中尾弘（三十一點）植村浩朗（三十點）

奧さん連の社會施設見學終る

新京婦人聯盟主催國都婦人の社會施設見學團は途中參加者を加へて約五百名十數台のバスを連ねて西五馬路育嬰堂に到り特別市公署矢波平治氏の說明にて所內を見學、ついで西三道街にある現在の國都に於て模範的施設の稱ある佛人經營の仁慈堂を見學、養老、孤兒、學校等完備せる施設にいづれも驚歎の目を瞠り更に南嶺の特別市立救濟院にて救擦、養老、孤兒、濟良、授產等の狀況を見學、倉本少佐の碑前で晝食を攝り歸路關東軍を訪問屋上から國都の發展狀況を見學し午後二時軍司令部前にて自由解散した

勸業債券
額面半額賣出し

十五日から十八日まで新京中央郵便局で賣出すことゝなつた第十一回勸業債券は額面二十圓のものを十圓で賣出し當籤の際は額面通り二十圓を償還する、但し無記名券で割增金は一等三千圓、二等百圓、三等十圓である

電々軍の渡日スケジュール

都市對抗野球滿洲代表として晴れの征途に上る新京電々チームのスケヂュールは次の如く發表された
七月十七日　午後八時新京發
十八日　大連にて實業或は滿倶と一戰
十九日　扶桑丸乘船
二十日　船上
廿一日　朝、下關着
廿二日　門鐵試合
廿三日　休養
廿四日　大阪或は名古屋試合
廿五日　東京着
廿六日　より三十一日まで中大グラウンド或は明大グラウンドで練習

强剛・鹿兒島劍道團
全新京軍を降す
きのふ商業學校で熱戰展開

九州の覇者全鹿兒島軍對精鋭全新京軍の劍道爭覇戰は新京武道會主催の下に八日午後二時より新京商業學校大講堂に於て擧行、來賓中野總領事代理をはじめ場を埋める觀衆の拍手裡に兩軍入場、全員起立脫帽して君が代奉唱後新京武道會副會長猪苗代警察署長鹿兒島軍代表丸田兼弘教士の挨拶あり、續いて丸田審判長へ兩軍戰士に試合上の注意を與へ二時十五分全鹿兒島軍先鋒竹下三段、全新京軍先鋒嶽崎三段の對峙により戰ひの火蓋は切つて落されたが遠來の全鹿兒島軍よく奮ひ結局三十三本對二一本にて優勝す、閉戰三時十五分戰績左の如し

全鹿兒島軍　全新京軍
先鋒　竹下（小面—胴）先鋒嶽崎
三段　丸田（小面—小）三段　井坂
同　夏迫（小小—）同　懸
四段　山元（小小—胴）同
同　坂元（—面面）同　前川
同　安樂（小—面小）同　井上
同　大橋（—面胴）四段　堀內
同　大塚　面胴—面）同　廣澤
同　竹下　小小—）同　蒲生
同　土橋（胴—面胴）同　河本
同　中西（小面—）同　增田
同　富島（胴—面胴）同　宮澤
同　林（—胴小）同　長島
同　鹿島（面面—）同　森原
同　永濱　胴小—）同　綾戶
同　永野（—面小）同　竹內
同　中馬　面面—）同　古川
五段　新山（面—面面）同　佐藤
同　長田（小面—）五段　岩崎
同　田島（面面—）同
副將五段　山部（小面—小）副將五段　杉內
大將五段　上脇（小小—）大將五段　藤下
（審判丸田、杉田兩教士）

鹿兒島劍道團全新京軍と戰ふ

樺川縣治安隊
天合等合流匪を蹴散す

吉川淳步兵中尉の指揮する三江省樺川縣治安隊は六月五日午後十時夜暗に乘じ九嶺營に蟠居する天合、天元、洋山等の合流匪約百五十名に對し猛烈なる夜襲を試み勇敢なる奮鬪を續けて遂に匪團を蹴散し匪八名及び馬七頭を斃し、乘馬十五頭、小銃彈六十五發其他白米、赤旗、匪首名簿等を鹵獲した　我方損害無し
第四軍管區司令部では此の治安隊の勇壯なる奮鬪に對し金百圓を送つてその活躍を激勵するところあつた

建國野球大會
全滿十三チームが參加して
八月廿九日より西公園で

滿洲國體育聯盟では年中行事として建國野球大會を主催し昨年其第一回を全滿及び關東州の野球チーム參加の下に開催したが、本年は八月下旬開催確定で準備中のところ偶々今春全滿及び關東州を打つて一丸とする滿洲野球聯盟が結成され、今夏聯盟加入チームの第一回爭霸戰を行ふ事となつてゐるので、比際右二つの野球大會を滿洲國體育聯盟と滿洲野球聯盟の共同主催下に一個の大會とすべく兩當事者間に折衝が行はれた結果此程双方の意見一致をみ、來る八月廿九日より九月二日迄の五日間新京西公園球場に於て第一回大會開催に決定、名も建國野球大會と銘打つ事となつた、尙右大會出場チームは關東州、全滿の十三チームであるがこれは事實上滿洲に於ける全チームを包含するものであり、今後年中行事として永續されるから滿洲夏季スポーツの一名物として大いに期待されるであらう
出場チームは左の通りである
大連滿倶、大連實業、鞍山製鐵、安東滿倶、奉天滿倶、奉天實業、撫順滿倶、四平街滿倶、新京倶樂部、電々電業、滿洲國、全ハルビン

街の角々に廣告塔出現

このごろ特別市內要所々々に高さ二メートル程の丹柱に帽子を冠せた丁度ポストを擴大したやうなものが見受けられ口の悪い連中は「このごろ街の角々にペーチカに帽子冠らせたものが立つてゐる」と市民の噂となつてゐるがこれはペーチカでもポストでもなく國都建設局の新案にかゝる廣告塔です、同局では街の明朗を目指してこれまでに掲げられた立看板、廣告、ビラなど全部撤收しいよ〳〵さる一日から暫行廣告管理準則を制定して管內の立看板、廣告を統制して廣告料をとつて廣告塔に掲げさせるやうにしたものである

商業の實包射擊

新京商業學校では八日午前三宅牧場先き射擊場において第

商業會議所臨時總會
議案全部を可決
新築資金の納附方法も決る

新京商工會議所臨時總會は八日午後三時半より公會堂第一集會室で開催されたが石崎、四戶、寺內正副會頭尾藤理事、栗原正金、櫻川鮮銀兩支店長、佐藤精一氏採金會社草間副理事長、炭鑛會社磯野販賣部長以下委任出席を合して六十二名の會員出席
既報議案全部を承認可決した特に懸案の會議所新築移轉に關する資金の一部は會議所賦課金の半年分に相當する金額を寄附金として二ケ年に亙り分割納付することゝなり五時半散會した

法大迎へて
新京軍の陣容

法政大學柔道部鮮滿遠征團一行二十二名は來る十七日午後二時着列車で來京、同日午後四時から新京商業學校道場で全新京軍と一戰を交へるがこれに備へ目下新京軍は各部署にあつて猛練習をなす一方十四、十五、十六日の三日間午後四時から商業道場で合同練習を行ひ必勝を期する事となつた
新京軍のメンバーは次の通りであるがこの內四段三名、三段四名、二段十餘名、初段二名をピックアップ出場せしめる豫定
▲四段　松崎（民政部）長谷川（中銀）堀（民政部）藤田（總務廳）、山崎（民政部）、小野（警察）▲三段　內村（滿鐵）、小林（同）原田平（電業）鵜生平（市中）關（電業）、齋藤（中銀）、吉田（同）▲二段　渡邊（中銀）、九岡（同）中村（同）、河合（同）鎌田（同）田中（電々）、藤平（滿鐵）、前田（炭鑛）岸本（民政部）小村（司法部）、加藤（總務廳）、園城子（同）、內海（滿鐵）、濱崎（同）、目黑（同）成松（警察）、北山（商業卒）川崎（電業）、中村（國際）▲初段　竹內（電々）澤田（實業部）、旗嶋（總務廳）、高須（同）森田（炭鑛）上田（首都警察）

幼兒の赤痢續出
寢冷えと飮食物に御要愼！

新京の赤痢病はます〳〵猖獗し每日二人、三人の新患者を發生してゐるが六日高砂町四丁目六番地山本昭仁さん（四ツ）祝町二丁目十九番地村松奈良惠さん（二六）七日に三笠町三丁目十六番地出塚玄一さん（四）大和通六十一番地服部弁三郎さん（五）中央通り三番地北村徧三郎氏（三五）大和通り六十七番地大和壯大石和子さん（七）といつた調子で七日の如きは四名發生特に目につくのは四、五才の小兒に多いことで此の際各家庭では特に寢冷え、飮食物に注意すべきであらう
右について滿鐵醫院小兒科田

在留外人の靈を慰む
國際盂蘭盆會
七日築地本願寺で開かる

【東京國通】日本の土となつた外人の靈を慰める國際盂蘭盆の夕が七日夜七時から築地本願寺廣場で開かれた、外國人約二百名國際佛教會長井上哲次郎博士の挨拶の後讀經、燒香があつて盆踊音頭の大鼓とレコードの音につれて洋裝の上に鉢卷や菅笠をのせた外國婦人達も手並可笑しく踊子に交つて興じて居た

蒙古語講習會
申込締切延期

協和會中央事務局と蒙古實務學院の共同主催にかゝる蒙古語講習會の申込期限は八日の豫定のところ申込者の便宜のため十日まで受付を延期する事になつた、申込先は協和會中央事務局、講習は七月二十一日から八月二十一日まで、每日午後一時から三時まで商業學校に於て行はれる

中醫長は語る
大流行といふ程でもないが最近小供に可成り多いやうである、大體七月の月は流行期でこれから益々多く發生するだらう、赤痢は年齡によつても非常に罹り易い年があつて四、五、六才位が最も罹り易くて重くなり易い年頃である、寢冷えなど確に赤痢病の原因を作るのだが黴菌が口から這入りさえしなければ病氣に罹りつこない、特にバナナ、筍竹輪、蒲鉾その他消化の悪い物を食べさせぬやうお互ひ親たちが注意されたい

學徒研究團の在滿日程

既報の如く永田秀次郎氏を理事長とする財團法人學徒至誠會では夏季休暇を利用し第四回學徒研究團を滿洲に派遣して皇軍の滿洲に於る戰跡を實視せしむると同時に、滿洲國發達の狀況を觀察せしめ以て我對滿國策の眞髓を把握せしむる目的の下に全國大學及び專門學校學徒三百名を選拔しこれに團長佐野日大教授以下指導員等四十四名を送る事になつたが、一行は七月十五日東京軍人會館に於て準備教育を施した上結團式を行ひ、宮城奉拜、靖國神社參拜後東京出發、十六日神戶出帆船中團體訓練準備教育を行ひつゝ十九日大連上陸と共に研究視察の旅次日程に入る事となつた、滿洲に於る日程左の如し
一、七月十九日大連上陸二日間滯在、大連神社、忠靈塔參拜、重要施設を見學し特に廿日午前中關東軍稻村參謀及び滿鐵囑託將校より各々講演がある
一、廿一日旅順戰跡見學、廿二日聽講
一、廿二日熊岳城鞍山見學
一、廿四日奉天神社、忠靈塔參拜、講演、戰跡見學
一、廿七日新京着三日間滯在新京神社、忠靈塔參拜、關東軍司令官訪問、戰跡見學聽講等
これより綏芬河班、大黑河班の二隊に分れ左の日程にて研究旅行を爲す
▲大黑河班
一、七月卅日新京發白城子、王爺廟に赴き軍官學校、蒙古事情の研究を行ふ、卅一日王爺廟發
一、八月一日チチハル着、河村本部長訪問見學聽講
一、八月二日北安鎭、三日大黑河着、國境見學、聽講
一、八月五日北安鎭　六日ハルビン着、ハルビン神社、志士碑參拜見學、聽講、國民高等學校見學
一、八月八日拉濱線經由敦化着見學聽講、九日圖們着、綏芬河班と落合ふ
▲綏芬河班
一、廿九日新京發公主嶺農場見學、卅日新京へ引返し
一、卅一日吉林着聽講見學
一、八月一日ハルビン神社、志士碑參拜、聽講、國民高等學校見學
一、八月三日ハルビン發、四日牡丹江着、聽講見學
一、五日綏芬河着、國境視察聽講
一、七日綏芬河發、八日寧安着、九日圖們着大黑河班に落合ふ
これより一隊となり
一、八月十日朝鮮淸津着、慶源種羊牧場、淸津港見學
一、十一日咸興着、窒素肥料會社見學
一、十三日京城着、總督、軍司令官訪問聽講、仁川港、水原農場見學
一、十五日釜山着、龍頭山神社參拜、見學
一、十六日下關上陸解散

市公署內
防空關係電話設置

新京特別市公署總務科庶務股內に防空協會支部および防空に關する全般用務專用のため電話二—一一一一七を設置した

滿洲体聯の贊助會員千七百名を突破

滿洲國體育聯盟では新興滿洲國のスポーツを統制して健全なる發展を期して居るが其の活動を助長するスポーツ同好の士を組織し聯盟贊助會を募つたところ新京だけでも今春初千七百名の會員を獲得し其の後も益々增加の傾向を辿つて居る、而して右會員に對する會員證は從來加入日より滿一ケ年の會期とし會費徵收並に次期會員證の書替へを行つて居たが事務繁雜と過誤を少くする爲め今回每年四月一日を期はじめとし途中加入者の爲め特に半期（會費半額）制を設ける事となつた

チチェリン氏逝く

【モスクワ七日發國通】革命直後ソ聯の外交を指導したゲオルギー・ワシリーヴイッチ・チチエリン氏は數年來第一線を退き療養中であつたが、七日突如重態に陷りモスクワの自邸に於て逝去した、享年六十四
氏は一八七二年ロシヤ貴族の家庭に生れ、長じて外交界に入つたが一九〇四年辭任、革命運動に參加して爾來世界大戰の前後を通じて歐洲各國に轉々地下工作に活潑な活動を續けた、一九一七年十一月ボルシエヴイーキ革命成るや歸國、外務人民委員長の要職に就き同志レーニン、トロツキー兩氏等と協力、多難な革命外交の指導に水際立つた手際を示した、殊に一九二二年ジエノア會議に際しては代表パルツウ氏　英代表ロイド・ジョージ首相等歐洲外交界の巨星を相手に革命外交の眞髓を發揮極秘裡にドイツ代表と所謂ラパロ條約を締結して各國政府の心膽を寒からしめ、爾來十餘年當時チチエリン外務人民委員長が各國政府から「承認」を獲ひ取つた結果、ソ聯府は國際政局に確固不拔の地位を確保するに至つたが、氏の桂冠以來國際情勢は急激な變化を遂げソ獨兩國政府が漸く對立關係に陷つて居る際同氏が逝去したのも何等かの因緣と見られてゐる

探偵小說 **殺人技師**

森下雨村

荻邊欣水畫

一三七

執念（四）

黒澤刑事は、續けて訊いた。

「成程、それで彼女は日本へ歸つてくると、早速讓治に近づく一方、耕太郎を搜し出しにかゝつたのだね。」

「さうです。彼女がどんな方法で復讐しようとしてゐたのか、それは私にもよく分りません。しかし、それが尋常一樣の手段でなかつたことは想像がつきます。彼女はきつと清水檢事ばかりでなく、檢事の血をひいたあらゆる人間に復讐しようとしてゐたでせう。耕太郎といふ人なんか、彼女にとつては父親こそ異へ、同じ腹から生れた兄妹のわけですが、復讐に狂つてゐる彼女にとつては、そんなことは眼中になかつたのです。清水檢事の血をひいてゐる―といふたゞそれだけのことで、彼女は自分の兄でも殺さずにはおかぬ決心だつたに違ひありません。ところが、これほど固い決心にも拘はらず、ふと彼女の心に迷ひが生じたのです。あれ程、綿密に辛辣に計畫した復讐だつたにも拘はらず、その豫定を變更しなければならないやうな大きな變化が、彼女の心に起つてきたのです。ほかでもありません。それは彼女が敵の片割である讓治君に、生れてはじめての戀をしたのですよ。」

ふいに、他の三人はどきりとしたやうに顔を見合せた。そして、漸くこの事件の本當の動機を覗つたやうに太息をついた。

「彼女にとつては、それは實に辛い、悲しい思ひでした。戀か復讐か―彼女はそれがために、どんなに煩悶したことでせう。しかし、彼女ほどの女でも、やはり女は女でした。遂々彼女は、この戀のためには一切を擲たうとさへも思つたほど戀した。だからもし、あの時讓治君が、彼女の誘を受けいれてゐたら、今度のやうな悲劇は、恐らく起らないで濟んだでせう。」―

「ところが讓治君は、その求愛を殘酷にはねつけたばかりか、却つて妹の須磨子のはうへ接近して行つたのです。あゝ、あの時の須磨子の心中を察してみて下さい。」

自動車はまだ闇を縫うて走つてゐる。誰も口を利く者がなく、ヘンリー松崎の熱を帶びた聲調のみが無氣味に車内に響きわたつた。

「實際、可哀さうなのは須磨子でした。彼女が生れて初めて戀をした男、―その男のためには、半生かゝつて築き上げた計畫さへ、惜しげもなく放棄しようとしてゐたその男―その讓治君が人もあらうに、自分とは肌の合はない妹と戀に陷ちてゐる。それと知つた時の彼女の絶望、屈辱、憤怒―その結果は、やがて一度和んでゐた彼女の復讐心に再び油を注ぎかけることゝなつたのです。むろん賢い女ですから、そんな色は少しも見せませんでしたが、そんなことから姉妹の仲は段々氣まづくなり、間もなく須磨子は姉の許を飛び出してアパート住ひをするやうになつたのです。ところが須磨子の方は、今ではもう讓治君に夢中になつてゐます。で、もし姉の陶子があまりしつこく自分たちの戀を妨げるなら、彼女の計畫をすつかり讓治君に打明けてやると、姉に向つて脅かしたわけです。これが、あの事件のあつた當夜の宵のうちの出來事でした。かうした二人の爭ひの最中へ讓治君が飛び込んで來たわけで、間もなく讓治君と須磨子の二人は、一緒に外へ出かける。その後を陶子が追つかけて行つたといふ譯なのです。」

「しかし、君、その時刻には陶子は舞臺にゐた筈ぢやないかね」

黒澤刑事が突然さういつて訊いた。